岡山県古代吉備文化財センター

Okayama Prefectural Ancient Kibi Cultural Properties Center

年　報　２

Annual report 2

＜ 令和４年度 ＞

２０２３年

岡山県古代吉備文化財センター

表紙口絵　高尾北ヤシキ遺跡出土鏡像

序

岡山県の埋蔵文化財行政の本格的体制整備は、昭和42年に山陽新幹線建設に伴う記録保存調査に対応するために、社会教育課に専門職員を２名配置したことが端緒となりました。その後、急増する大規模開発に伴い、昭和51年に県庁舎外に発掘調査の拠点として設置した文化課分室を経て、昭和59年11月に岡山県古代吉備文化財センターが、県内の埋蔵文化財の保護と活用を図る拠点施設として開所されました。以降、センターは試掘確認調査と記録保存調査の実施、調査記録と出土品の収蔵管理、公開活用事業を担っています。

こうしたセンターが果たす役割と責務を広く周知するため、県の埋蔵文化財の保護保存・公開と活用の記録として、センターが実施した諸事業をまとめたものが本年報です。

令和４年度は試掘確認調査として４事業を、記録保存調査として３事業を実施しました。併せて、11事業について報告書作成を行い、このうち８事業について、その成果を５冊の報告書として刊行することができました。また「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業の一環で、保存活用総合調査として史跡こうもり塚古墳の発掘調査と報告書作成・刊行も実施しています。

公開活用事業として講座、シンポジウム、報告会などを実施し、延べ5,306名もの皆様に御参加いただきました。また、３遺跡について発掘調査の現地説明会を実施し、その成果を地域・県民の皆様に紹介しました。

こうしてセンターの事業を円滑に進める事ができましたのも、センターの活動を様々に支援いただいた、地域の皆様をはじめとする多くの方々のお力添えあってのことと感謝申し上げます。

本書が、地域史の解明や研究に広く寄与し、今後の取り組みへの道標となるとともに、埋蔵文化財保護のための資料となり、文化財保護意識の高揚へと繋がることを切に願います。

令和５年９月30日

岡山県古代吉備文化財センター
所　長　奥　山　修　司

例　　言

1　本書は、岡山県古代吉備文化財センターが令和４年度に実施した事業の概要報告である。

2　本書中、「調査位置図」等の地形図には、国土交通省国土地理院発行の1/25,000地形図を複製及び加筆して使用している。

3　本書の執筆は各担当者が分担し、文末に示した。編集は調査第一課第一班が担当した。

目　　次

序
例　言
目　次
第１章　施設の概要……1
第２章　埋蔵文化財保護行政組織……3
第３章　事業の概要……5
第１節　発掘調査事業……5
（１）国庫補助事業……5
（２）県関係事業……5
（３）国等機関関係事業……5
第２節　報告書作成・刊行事業……6
（１）国庫補助事業……6
（２）県関係事業……6
（３）国等機関関係事業……6
第３節　資料の収蔵管理と保存処理……7
（１）収蔵管理……7
（２）遺物の保存処理……7
第４節　公開活用事業……8
（１）講座・シンポジウム・報告会……8
（２）発掘調査現地説明会・現場見学等……10
（３）体験学習等……11
（４）展示……12
（５）講師派遣……13
（６）刊行物等……14
（７）資料貸出・掲載許可・資料調査対応……15
（８）ホームページ・メールマガジン……20
（９）おかやま全県統合型ＧＩＳ……20
第５節　教育支援事業……21
（１）センター施設・発掘調査現場見学……21
（２）津島遺跡見学……21
（３）職場体験・出前授業……22
第６節　市町村支援事業……23
（１）災害復旧及び保存調査に伴う智頭往来志戸坂峠越確認調査……23
（２）町道泉・田ヶ原線新築に伴う発掘調査……23
（３）中ノ谷横穴墓発掘調査・報告書作成……23

第７節　専門職員研修等……23
（１）所内研修……23
（２）埋蔵文化財担当職員研修会……24
（３）奈良文化財研究所文化財担当者研修受講……24
（４）埋蔵文化財担当職員等講習会受講……24
第８節　調査指導会等……25
（１）埋蔵文化財保護調査指導会……25
（２）埋蔵文化財専門委員による現地指導……25
（３）史跡こうもり塚古墳調査指導会……25
第９節　古代歴史文化に関する共同調査研究事業……26
第10節　労働安全衛生……27
（１）安全衛生委員会……27
（２）各種資格取得・受講……28
第11節　施設等の修繕……28
第12節　文化財保護法に基づく提出書類……29
（１）史跡の現状変更許可申請（法第125条）……29
（２）埋蔵文化財試掘確認調査の報告（法第99条）……29
（３）埋蔵文化財発掘調査の報告（法第99条）……29
（４）埋蔵文化財発見の通知（法第100条第2項）……30
第４章　調査の概要……31
第１節　試掘確認調査概要……31
（１）一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴う確認調査（宮坂遺跡）……31
（２）広域河川改修（干田川）に伴う確認調査（向山遺跡）……32
（３）一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う確認調査（高尾宮ノ前遺跡）……33
（４）県道園井里庄線地方道路整備事業道路改築に伴う試掘調査……34
第２節　発掘調査概要……35
（１）高梁川河川整備事業に伴う発掘調査（水江遺跡・酒津遺跡）……35
（２）一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う発掘調査（高尾宮ノ前遺跡）……37
（３）一般国道429号改築工事に伴う発掘調査（尾崎遺跡）……39
第３節「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業……41

第１章　施設の概要

１　設　　置　　昭和59年11月１日（昭和59年９月25日岡山県条例第28号）

２　位　　置　　岡山県岡山市北区西花尻1325－３

３　施設規模

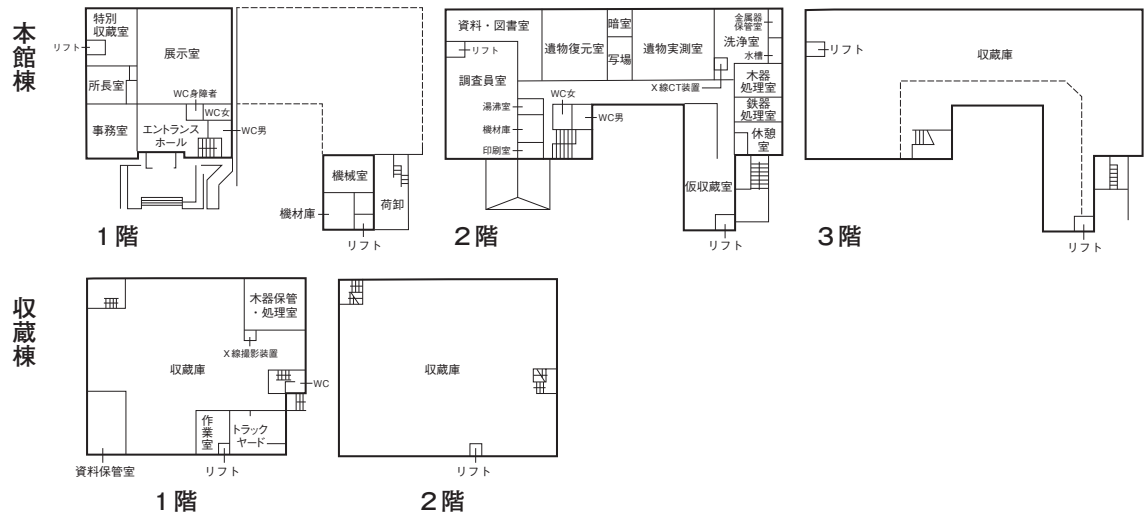
敷　地　　53,688㎡（センター敷地52,738㎡　　三手収蔵庫敷地950㎡）

建　物　　4,925㎡

種別		室　名	面積（㎡）
本館棟	一階	エントランスホール	44
		所　長　室	31
		事　務　室	48
		展　示　室	177
		特別収蔵室	52
		機　械　室	32
		そ　の　他	82
		小　　計	466
	二階	調 査 員 室	146
		資料・図書室	85
		遺物復元室	88
		写　真　室	35
		遺物実測室	116
		洗　浄　室	84
		木器処理室	31
		鉄器処理室	24
		休　憩　室	23
		仮 収 蔵 室	94
		そ　の　他	181
		小　　計	907
	三階	収　蔵　庫	931
	合　　計		**2,304**

種別		室　名	面積（㎡）
児　童　学　習　室			**236**
渡　り　廊　下			**39**
収蔵棟	地階	ポンプ室消防水槽	23
	一階	収　蔵　庫	601
		木器保管・処理室	70
		資料保管室	59
		作　業　室	37
		そ　の　他	146
		小　　計	913
	二階	収　蔵　庫	875
		そ　の　他	38
		小　　計	913
	合　　計		**1,849**
三　手　収　蔵　庫			**497**
総　　計			**4,925**

施設配置図



４　沿　　革

昭和59年11月	開所
平成４年７月	収蔵棟完成
平成６年11月	開所10周年記念行事
平成９年10月	ホームページ開設
平成16年４月	展示室の休日公開開始
	遺跡地図情報システム公開
11月	開所20周年
平成17年３月	三手収蔵庫 （岡山市北区三手93-２）完成
平成26年９月	開所30周年記念シンポジウム開催

古代吉備文化財センター外観

５　条　　例

昭和五十九年九月二十五日
岡山県条例第二十八号

岡山県古代吉備文化財センター条例をここに公布する。

岡山県古代吉備文化財センター条例

（目的及び設置）

第一条　埋蔵文化財を保護するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第三十条の規定により、岡山県古代吉備文化財センター（以下「文化財センター」という。）を岡山市に設置する。

（業務）

第二条　文化財センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

一　埋蔵文化財の調査及び研究に関すること。

二　発掘により出土した文化財（次号において「出土品」という。）の整理、保存及び活用に関すること。

三　埋蔵文化財の発掘調査並びに出土品の整理及び保存に係る指導及び助言に関すること。

四　埋蔵文化財についての知識の普及及び啓発に関すること。

五　前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財を保護するために必要な業務

（職員）

第三条　文化財センターに、所長その他必要な職員を置く。

（その他）

第四条　この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附　則

この条例は、昭和五十九年十一月一日から施行する。

第２章　埋蔵文化財保護行政組織

１　令和４年度の体制

岡山県教育委員会

教 育 長　　鍵本　芳明

教育庁

教育次長　　浮田信太郎

教育次長　　梅﨑　　聖

文化財課

課　　長　　江草　大作

副 課 長　　尾上　元規

埋蔵文化財班

総括副参事　　河合　　忍
（班　長）

副 参 事　　松尾　佳子
（文化財センター兼務）

主　　事　　金田　　涼

岡山県古代吉備文化財センター

所　　長　　大橋　雅也

次　　長　　浅野　勝弘

参　　事　　柴田　英樹
（文化財保護担当）

総括参事　　髙田恭一郎

総 務 課

課長事務取扱　浅野　勝弘

総 務 班

総括副参事　　福池　光修
（班　長）

主　　幹　　井上　裕子

主　　事　　西山祐太朗

主　　事　　市本　　潤

調査第一課

課長事務取扱　髙田恭一郎

第一班

総括副参事　　小嶋　善邦
（班　長）

主　　幹　　和田　　剛

主　　幹　　石田　爲成

主　　事　　四田　寛人

第二班

総括副参事　　金田　善敬
（班　長）

主　　任　　藤井　翔平

主　　事　　小林有紀子

調査第二課

課　　長　　弘田　和司

第一班

総括副参事　　米田　克彦
（班　長）

副 参 事　　氏平　昭則

主　　事　　藤井　雅大

主　　事　　森本　　蓮

第二班

総括副参事　　團　　奈歩
（班　長）

主　　事　　山口　香織

主　　事　　藤井　雄一

調査第三課

課　　長　　澤山　孝之

第一班

総括副参事　　渡邉恵里子
（班　長）

副 参 事　　岡本　泰典

主　　事　　間所　克仁
（総社市から派遣）

第二班

総括副参事　　物部　茂樹
（班　長）

主　　事　　西村　　奏

主　　事　　北門幸二郎

2　組織と業務

- 所　長
  - 次　長（総務課長事務取扱）
    - 総務課
      - 総務班：管理運営、庶務、会計
    - 調査第一課
      - 第一班：県内遺跡試掘・確認調査、不特定小規模、公開活用、収蔵管理、資料貸出、HP、市町村支援、高梁川河川整備
      - 第二班：史跡こうもり塚古墳保存活用【発掘調査・報告書作成・刊行】
    - 調査第二課
      - 第一班：一般国道53号（津山南道路）改築【報告書作成・刊行】／岡山地方法務局本局庁舎新営【報告書作成・刊行】／高梁川河川整備【発掘調査】
      - 第二班：一般国道53号（津山南道路）改築【発掘調査】
    - 調査第三課
      - 第一班：一般国道374号（美作岡山道路）改築【報告書作成】／不特定小規模／警察本部宿舎建替整備【報告書作成・刊行】／高梁川河川整備【発掘調査】
      - 第二班：一般国道429号改築【発掘調査・報告書作成】／高梁川河川整備【発掘調査】
  - 参　事（文化財保護担当）

所　　長	１名
次　　長	１名
参　　事	１名
総務課職員	４名
調査課職員	23名
事　務　員	２名
事務補助員	２名
計	34名

（うち埋蔵文化財専門職員24名）

第３章　事業の概要

第１節　発掘調査事業

（１）国庫補助事業

１　県内遺跡調査（試掘・確認調査）

開発事業者との連絡調整体制の整備を図るため、事前に開発事業予定地内の試掘・確認調査を行い、遺跡の範囲・内容等を把握し、遺跡を考慮した事業計画となるよう、保護保存に向けた基礎資料の作成を行った。

	原因事業	遺跡名等	調査面積	調査期間
1	一般国道374号（美作岡山道路）改築工事	宮坂遺跡 （美作市）	100㎡	令和４年６月13日～ ６月20日
2	広域河川改修（干田川）	向山遺跡 （瀬戸内市）	70.5㎡	令和４年６月27日～ ６月30日
3	一般国道53号（津山南道路）改築工事	高尾宮ノ前遺跡 （津山市）	130㎡	令和４年11月９日～ 11月21日
4	県道園井里庄線地方道路整備事業道路改築	笠岡市園井277-1 ほか	39.6㎡	令和５年１月23日～ １月27日

２　史跡こうもり塚古墳保存活用総合調査

史跡こうもり塚古墳の総合的調査研究を実施し、その歴史的価値付けを行うとともに、吉備路の歴史遺産の魅力を発信し、保存と活用を図った。

	事業名	史跡名	調査面積	事業期間
1	史跡こうもり塚古墳保存活用 総合調査	史跡こうもり塚古墳（総社市）	145㎡	令和４年４月１日～ 令和５年３月31日

（２）県関係事業

県機関が開発事業主体である事業について依頼を受け、記録保存調査を実施した。

	事業名	遺跡名等	調査面積	種別	事業期間
1	一般国道429号改築工事	尾崎遺跡（美作市）	1,000㎡	記録保存調査	令和４年４月１日～ 10月31日

（３）国等機関関係事業

国等機関が開発事業主体である２事業について委託を受け、記録保存調査を実施した。

	事業名	遺跡名	調査面積	種別	事業期間
1	一般国道53号（津山南道路） 改築工事	高尾宮ノ前遺跡 （津山市）	3,600㎡	記録保存 調査	令和４年４月１日～ 令和５年３月31日
2	高梁川河川整備事業	水江遺跡 酒津遺跡（倉敷市）	1,100㎡	記録保存 調査	令和４年10月３日～ 令和５年３月31日

第２節　報告書作成・刊行事業

（１）国庫補助事業

保存活用総合調査を実施した史跡こうもり塚古墳について、発掘調査報告書を作成、刊行した。

	事業名	史跡名	内容	作成期間	報告書名
1	史跡こうもり塚調査保存活用総合調査	史跡こうもり塚古墳（総社市）	作成 刊行	令和４年４月１日～令和５年３月31日	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告266

（２）県関係事業

県機関が開発事業主体である５事業について、発掘調査報告書等を作成、刊行した。

	原因事業	遺跡名	内容	作成期間	報告書名
1	一般国道429号改築工事	尾崎遺跡（美作市）	作成	令和４年11月１日～令和５年３月31日	令和５年度刊行予定
2	一般国道374号（美作岡山道路）改築工事	大林遺跡 城田遺跡 （美作市）	作成	令和４年４月１日～令和５年３月31日	令和７年度以降刊行予定
3	県道矢知赤坂線建設	矢知遺跡（岡山市）	作成 刊行	令和４年４月１日～令和５年３月31日	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告265
4	城下地下駐車場建設	岡山城内堀跡ほか（岡山市）	作成 刊行	令和４年４月１日～令和５年３月31日	
5	県道新錦橋押入線建設	津山城外堀跡（津山市）	作成 刊行	令和４年４月１日～令和５年３月31日	

（３）国等機関関係事業

国等機関が開発事業主体である６事業に関して委託を受け、発掘調査報告書等を作成、刊行した。

	原因事業	遺跡名	内容	作成期間	報告書名
1	警察本部宿舎建替整備事業	百間川原尾島遺跡（岡山市）	作成 刊行	令和４年４月１日～９月30日	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告261
2	一般国道53号（津山南道路）改築工事	桑山古墳群ほか（津山市）	刊行	令和３年度	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告262
3	岡山地方法務局本局庁舎新営	南方遺跡（岡山市）	作成 刊行	令和４年４月１日～令和５年３月31日	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告263
4	一般国道53号キャブシステム建設	絵図遺跡（岡山市）	作成 刊行	令和４年４月１日～令和５年３月31日	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告264
5	建設省藤原宿舎3号棟建設	原尾島遺跡（岡山市）	作成 刊行	令和４年４月１日～令和５年３月31日	
6	一般国道53号（津山南道路）改築工事	高尾北ヤシキ遺跡ほか（津山市）	作成	令和４年４月１日～令和５年３月31日	令和５年度刊行予定

第３節　資料の収蔵管理と保存処理

（１）収蔵管理

報告書作成のための作業が終了した遺物について、報告書掲載遺物をＡ、非掲載図化遺物をＢ、非掲載未図化遺物をＣ、の３区分を行い、台帳作成の上、計176箱を収蔵した。いずれもＡについては本館棟３階収蔵庫、Ｂ・Ｃについては収蔵棟で保管管理している。

	遺跡名	掲載報告書名	Ａ箱数	Ｂ・Ｃ箱数	計
1	百間川原尾島遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告261	17	24	41
2	勝負谿遺跡、桑山遺跡、桑山古墳群	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告262	29	32	61
3	南方遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告263	17	20	37
4	絵図遺跡、原尾島遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告264	6	10	16
5	矢知遺跡、岡山城内堀跡ほか、津山城外堀跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告265	5	8	13
6	こうもり塚古墳	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告266	1	7	8
		計	75	101	176

（２）遺物の保存処理

１　木製品

７遺跡、７冊の発掘調査報告書に関係する102点の木製品について、PEG含浸処理作業を継続した。

	遺跡名	報告書名	PEG処理点数
1	津島遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告173	11
2	津島遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告190	15
3	百間川原尾島遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告239	24
4	百間川沢田遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告239	2
5	前田遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告244	26
6	岡山城二の丸跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告245	3
7	岡山城二の丸跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告247	21
		計	102

２　金属製品

発掘調査報告書作成、及び保存のため、21遺跡の金属製品について、X線51カット撮影、錆落とし419点、脱塩処理89点、BTA処理36点、樹脂含浸処理68点、表面樹脂塗布処理28点行った。なお、作業効率化のため、Ｘ線CT装置を新規導入した。

	遺跡名	処理内容（点数）					
		X線撮影（カット数）	錆落	脱塩	BTA処理	樹脂含浸	樹脂塗布
1	刑部遺跡ほか	―	―	27	5	32	―
2	百間川原尾島遺跡	―	―	―	―	1	1
3	百間川沢田遺跡	―	―	―	―	―	5
4	城殿山遺跡	―	―	15	3	18	―
5	和田谷遺跡	―	―	40	12	―	―
6	マキサヤ遺跡	―	―	1	4	―	―
7	桑山南古墳群	―	―	4	3	7	7
8	細畝古墳群	―	―	―	6	6	6
9	桑山２号墳	2		―	2	2	2
10	桑山４号墳	1	2	―	―	―	―

	遺跡名	処理内容（点数）					
		X線撮影（カット数）	錆落	脱塩	BTA処理	樹脂含浸	樹脂塗布
11	高尾北ヤシキ遺跡	10	100	―	―	―	―
12	高尾北ヤシキ古墳	9	130	―	―	―	―
13	勝負峪遺跡	1	3	―	―	―	―
14	南方遺跡	―	31	―	―	―	―
15	尾崎遺跡	2	44	―	―	―	―
16	こうもり塚古墳	16	―	―	―	―	5
17	高尾宮ノ前遺跡	―	1	―	―	―	―
18	大林遺跡	―	96	―	―	―	―
19	水江遺跡	―	2	―	―	―	―
20	四御神古墳	6	2	2	1	2	2
21	中ノ谷横穴墓	4	8	―	―	―	―
計		51	419	89	36	68	28

第４節　公開活用事業

（１）講座・シンポジウム・報告会

１　吉備の考古学講座

発掘調査によって明らかとなった「吉備の歴史」をわかりやすく伝える講座。センター職員が講義形式で紹介し、その歴史的意義について参加者の理解を深めた。令和４年度は３回実施。

本講座は岡山県立図書館との連携講座である。

会　場：岡山県立図書館多目的ホール

第２回講座の様子

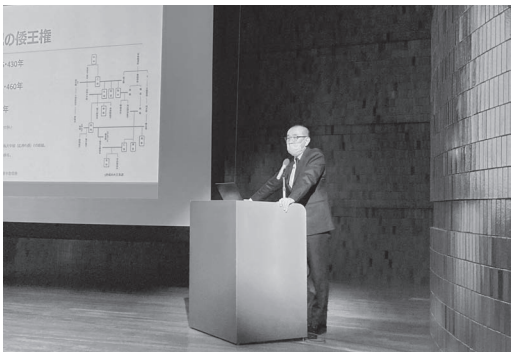
	日　時	内　容・講　師	参加者数
第１回	令和４年９月17日（土） 13：30～15：10	「島状高まりの謎－弥生後期の水田開発－」 調査第三課総括副参事　物部　茂樹	72名
第２回	令和４年10月８日（土） 13：30～15：10	「古代の道を探る－赤磐市南部の遺跡と地形から－」 調査第二課主事　山口　香織	80名
第３回	令和４年12月11日（日） 13：30～15：10	「弥生人のいのり」　所長　大橋　雅也	73名

２　史跡こうもり塚古墳シンポジウム「吉備最後の大型前方後円墳とその時代」

「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業の一環で実施した墳丘の発掘調査によって得た、墳丘の規模や構造などの調査成果を披露する報告会を開催し、史跡こうもり塚古墳の実像に迫るシンポジウム「吉備最後の大型前方後円墳とその時代」を開催した。またこの講演会の様子をセンター YouTube公式チャンネルで同時配信した。

会　場：岡山県立美術館ホール

日　時	演　題	講　師	参加者
令和５年 ３月４日（土） 13：00～ 16：00	基調講演 「文献から見た６世紀の吉備」	岡山大学文明動態学研究所教授 今津　勝紀	165名 ＊YouTube同時配信時の接続回線数151回線
	報告 「史跡こうもり塚古墳の調査成果とその意義」	調査第一課総括副参事 金田　善敬	
	パネルディスカッション	コーディネーター： 岡山理科大学特任教授　亀田　修一 パネラー：今津　勝紀、岡山大学大学院社会文化科学研究科教授　清家　章、金田　善敬	



今津勝紀氏の講演

パネルディスカッションの様子

３　「大地からの便り2022」県内の埋蔵文化財発掘調査報告会

県下各地で行われた近年の発掘調査について報告し、その成果を知る機会とし、郷土の歴史についての知識を深めた。令和４年度は４遺跡の紹介を行った。

報告遺跡

	遺　跡　名	報　告　機　関	参加者数
1	中津貝塚（倉敷市）	倉敷市教育委員会	98名
2	高尾北ヤシキ遺跡（津山市）	岡山県古代吉備文化財センター	
3	斎富遺跡（赤磐市）	赤磐市教育委員会	
4	津山城跡（津山市）	津山市	

４　企画展１関連行事　報告会「南山城跡の発掘調査成果と備前・備中国南部の山城」

企画展１「南山城跡とその時代」の関連行事として、南山城跡の発掘調査成果を広く公開することを目的に報告会を開催した。

会　場：児童学習室

日　時	内　容・講　師	参加者数
令和４年６月25日（土） 13：30～16：00	報告１「南山城跡の発掘調査成果」　調査第二課長　弘田和司	30名
	報告２「南山城跡―毛利氏による城郭縄張りの到達点―」 調査第一課主幹　和田　剛	
	展示解説「南山城跡土塁の土層剥ぎ取りと企画展」	

（２）発掘調査現地説明会・現場見学等

１　発掘調査現地説明会

３遺跡について発掘調査の現地説明会を実施し、計156名の参加者を得た。

遺跡名	開催日	対象	参加者数
史跡こうもり塚古墳（総社市）	令和４年６月18日（土）	一般（事前申込）	109名
尾崎遺跡（美作市）	令和４年10月１日（土）	地元	19名
高尾宮ノ前遺跡（津山市）	令和４年12月17日（土）	地元	28名
		計	156名

史跡こうもり塚古墳の現地説明会

高尾宮ノ前遺跡の現地説明会

２　発掘調査現場見学等

調査現場が所在する地元学校や公民館をはじめ、10件の依頼を受け、計244名の発掘調査現場見学者を受け入れ、発掘調査状況の説明を行った。

見学受入遺跡名	見学日	団体名	見学者数
史跡こうもり塚古墳（総社市）	令和４年６月２日（木）	総社市文化財保護審議会	20名
尾崎遺跡（美作市）	令和４年６月８日（水）	美作市立大原小学校	20名
史跡こうもり塚古墳（総社市）	令和４年６月８日（水）	日本遺産「桃太郎伝説のうまれたまち　おかやま」推進協議会	4名
史跡こうもり塚古墳（総社市）	令和４年６月17日（金）	岡山大学考古学研究室	6名
史跡こうもり塚古墳（総社市）	令和４年６月17日（金）	総社市観光大使	2名
尾崎遺跡（美作市）	令和４年７月６日（水）	美作市立東粟倉小学校	7名
高尾宮ノ前遺跡（津山市）	令和４年９月14日（水）	佐良山公民館	23名
一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う出土遺物（於：佐良山公民館）	令和４年11月13日（日）	佐良山時代祭	100名
高尾宮ノ前遺跡（津山市）	令和４年11月14日（月）	津山東公民館	14名
高尾宮ノ前遺跡（津山市）	令和４年11月16日（水）	津山市立佐良山小学校	48名
		計	244名

（３）体験学習等

１　夏休み企画☆ワクワク古代体験！

夏休み期間に、勾玉・鏡づくりのモノ作り体験や出土品展示を実施し、地域の歴史を身近に体感できる機会とした。

会　　場：人と科学の未来館サイピア
期　　間：令和４年７月26日（火）～７月29日（金）
内　　容：体験　勾玉づくり、鏡づくり、弥生土器立体パズル
　　展示　南山城跡のパネル展示、伊福定国前遺跡の出土品及びパネル展示
参加者総数：555名

勾玉づくりの様子

鏡づくりの様子

２　津島遺跡やよいまつり

復元整備された史跡津島遺跡での自由参加型の古代体験を通して、津島遺跡を身近に感じる機会を提供し、埋蔵文化財の保護・保存に対する理解を深めた。なお、当日は岡山県立岡山工業高校の生徒27名がボランティアとして参加した。

会　　場：津島やよい広場、遺跡＆スポーツミュージアム（岡山県総合グラウンド内）
開　催　日：令和４年10月22日（土）、23日（日）
内　　容：体　　験　火起こし、勾玉づくり、鏡づくり、石包丁による古代米の収穫、籾すり
　　展示見学　遺跡＆スポーツミュージアムの展示解説、復元住居・建物の解説
　　そ の 他　会場内でのクイズラリー
参加者総数：1,038名

籾すりの様子

火起こしの様子

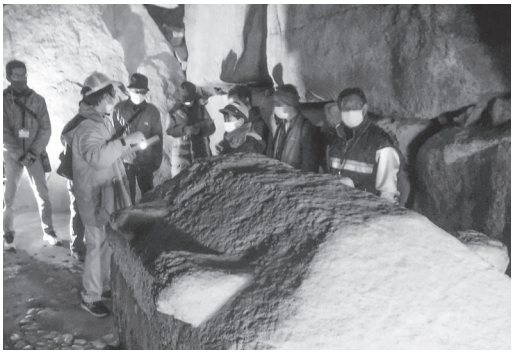
３　吉備路ウオーク

吉備路の歴史遺産である史跡こうもり塚古墳、史跡作山古墳、県史跡江崎古墳を解説しながら歩いて巡り、郷土の歴史に親しむ機会とした。

開催日時：令和４年12月３日（土）　9：30～12：00

開催場所：史跡こうもり塚古墳、史跡作山古墳、
　　県史跡江崎古墳

参加者数：31名



こうもり塚古墳石室の解説

４　津島遺跡ボランティア

津島遺跡を中心とした埋蔵文化財に関する普及啓発活動の運営を円滑に進めるため、平成22年度から津島遺跡ボランティアを結成し、13年目を迎えた。令和４年度は14名の登録を得て、各種の公開活用事業において活動した。

活動実績

ボランティア連絡会議３回（研修含む）

津島遺跡小学校見学対応：７校

夏休み企画☆ワクワク古代体験！・津島遺跡やよいまつりスタッフ参加

津島遺跡やよい農園田植え・稲刈り・麦播き

（４）展示

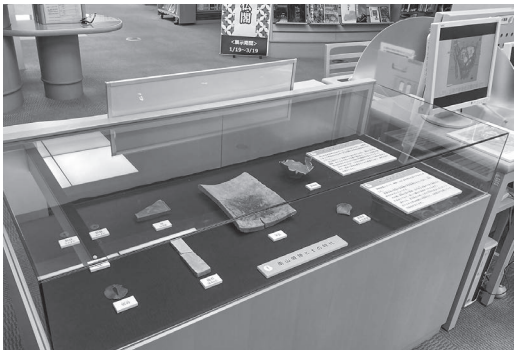
展示室において、常設展示と２回の企画展示を行った。

令和４年度の入館者数は4,313名（小学校等の施設見学者数含む）であり、年間開館日数は354日であった。

また、県立図書館との連携展示「南山城跡とその時代」を同館２階検索コーナー横で開催した。企画展１の関連講座を令和４年６月25日（土）に児童学習室で開催し、30名の参加者を得た。

種　　別	会　　期	タイトル・テーマ
企画展１	令和４年５月18日（水）～11月６日（日）	南山城跡とその時代
企画展２	令和４年11月９日（水）～令和５年４月16日（日）	横穴式石室の世界
連携展示	令和５年２月18日（土）～３月19日（日）	南山城跡とその時代

企画展２「横穴式石室の世界」



連携展示「南山城跡とその時代」

月別展示室入館者数

年	月	入館者数	入館者数内訳								開館日数	1日平均入館者数
			個人	(うち子ども)	団体							
					一般		学校		小計			
					団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数		
R4	4	394	288	(32)	2	26	1	80	3	106	30	13.1
	5	682	353	(31)	6	85	3	244	9	329	31	22.0
	6	1,019	188	(16)	6	83	11	748	17	831	29	35.1
	7	262	170	(19)	5	53	1	39	6	92	31	8.5
	8	223	203	(40)	3	9	1	11	4	20	31	7.2
	9	172	167	(9)	1	5	0	0	1	5	29	5.9
	10	196	182	(16)	1	10	2	4	3	14	29	6.8
	11	272	235	(20)	4	15	6	22	10	37	30	9.1
	12	158	113	(9)	5	45	0	0	5	45	28	5.6
R5	1	351	186	(10)	8	165	0	0	8	165	28	12.5
	2	220	195	(14)	5	25	0	0	5	25	27	8.1
	3	364	221	(18)	8	143	0	0	8	143	31	11.7
合計		4,313	2,501	234	54	664	25	1,148	79	1,812	354	12.2
参考R3年度		(2,842)	(1,825)	(326)	(35)	(418)	(11)	(599)	(46)	(1,017)	(257)	(11.1)

（５）講師派遣

依頼を受け、職員を派遣し、講座講師を行った。派遣数は11回で、総受講者数は514名であった。

講座・講演内容	開催日	団体名	担当	受講者数
弥生時代のマツリ	令和４年５月13日（金）	成羽文化協会	参事 柴田英樹	50名
実践演習（地域歴史遺産）	令和４年５月18日（水）	岡山大学文学部	所長 大橋雅也	21名
石垣から見える岡山城の歴史	令和４年６月23日（木）	岡山歴史楽修塾	主幹 和田　剛	30名
秋の考古学講座	令和４年10月16日（日）	倉敷埋蔵文化財センター	総括副参事 金田善敬	40名
古代国家の形成と出雲の玉作り	令和４年10月22日（土）	松江市	総括副参事 米田克彦	100名
埋蔵文化財の保護と発掘調査	令和４年11月４日（金）	公益財団法人 岡山県シルバー人材センター	総括参事 髙田恭一郎	27名
発掘!南山城跡	令和４年11月６日（日）	倉敷市船穂公民館	総括副参事 物部茂樹	49名
文化財を繋ぐこと	令和４年11月24日（木）	岡山県博物館協議会	所長 大橋雅也	25名
備中兵乱の舞台を歩く	令和４年12月４日（日）	総社市昭和公民館	主幹 和田　剛	40名
発掘された西国の戦国期山城	令和５年２月18日（土）	考古学研究会	総括副参事 米田克彦	80名
城殿山遺跡の発掘調査成果	令和５年２月26日（日）	浅口市教育委員会	総括副参事 渡邉恵里子	52名

（６）刊行物等

１　所報『吉備』

センターの事業・活動を広く周知するため、年間２冊（第73号、第74号）を刊行した。

体　　裁：カラー印刷　Ａ４判、８頁

刊行部数：1,000部

２　遺跡めぐりマップ『おかやま☆遺跡探訪　津山市西部と鏡野町周辺』

遺跡に親しむ機会とするため、県内の主要遺跡、出土品展示施設を紹介する地図を刊行した。なお、これまでに８冊（『吉備路とその周辺』、『両宮山古墳とその周辺』、『瀬戸内市とその周辺』、『津山市街地とその周辺』、『高梁川西岸の遺跡』、『備中北部と美作西部の遺跡』、『美作市とその周辺』、『岡山市南部とその周辺』）を刊行しており、令和４年度刊行が９冊目となる。

体　　裁：カラー印刷、Ａ２判（蛇腹六つ折り）

内　　容：津山市・鏡野町・美咲町の３市町の主な遺跡、出土品展示施設等を掲載。

掲載遺跡等：61か所

刊行部数：5,000部

３　パンフレット『美作・佐良山の古墳』

津山市佐良山地区を対象に主な埋蔵文化財について周知するため、これまで実施された埋蔵文化財発掘調査の成果を中心に、一般向け概要報告としてパンフレットを作成、配布した。

体　　裁：カラー印刷、Ａ４判、12頁

刊行部数：3,000部

４　ガイドブック『史跡こうもり塚古墳』

「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業において、史跡こうもり塚古墳の周知と活用を図るため、ガイドブックを作成し、史跡こうもり塚古墳シンポジウム「吉備最後の大型前方後円墳とその時代」において配布した。

体　　裁：カラー印刷、Ａ４判、16頁

刊行部数：500部

５　史跡こうもり塚古墳シンポジウム特製クリアファイルの作成

史跡こうもり塚古墳シンポジウム特製クリアファイルを作成し、同シンポジウム「吉備最後の大型前方後円墳とその時代」において資料とともに配付した。

体　　裁：カラー印刷、Ａ４判、４頁

（表面：写真　裏面：無色透明）

制作部数：200部

６　津島遺跡やよいまつりクイズラリー景品（マスキングテープ）の作成

津島遺跡やよいまつりにおいて、クイズラリー景品の特製マスキングテープを作成し、クイズラリー参加者に配付した。

作成数量：380巻

ガイドブック
「史跡こうもり塚古墳」

（７）資料貸出・掲載許可・資料調査対応

１　収蔵遺物資料貸出

８件、計241点の収蔵遺物資料貸出を行った。

	依頼者	資料	点数	目的	期間
1	岡山県立博物館	百間川沢田遺弥生土器 加茂政所遺跡弥生土器 百間川兼基遺跡弥生土器 津島遺跡弥生土器 大河内遺跡弥生土器器台・勝間田焼 上東遺跡弥生土器 刑部遺跡弥生土器 鬼城山土製品 中撫川遺跡土製品、土師器 原尾島遺跡出土須恵器、土師器甕 雄町遺跡緑釉陶器 津寺遺跡土師器杯、銭 新邸遺跡鉛弾 郷ノ溝遺跡鉛弾 仏生田遺跡鉛弾、弥生土器 百間川原尾島遺跡瓦経 岡山城二の丸跡軒丸瓦 高塚遺跡突線鈕流水文銅鐸、貨泉、棒状銅製品 津島遺跡木器 特別名勝・国指定史跡　岡山後楽園花交の池木樋管 上東遺跡製塩土器 西江遺跡特殊器台No.1、特殊壺No.3	71	展示	令和５年２月24日（金）～ 令和６年３月31日（日）
2	野崎家塩業資料館	阿津走出遺跡製塩土器 上東遺跡製塩土器	2	展示	令和５年４月１日（土）～ 令和６年３月31日（日）
3	総社吉備路文化館	備中国分寺出土軒丸瓦 備中国分寺出土軒平瓦 備中国分寺出土平瓦 備中国分尼寺出土軒丸瓦	4	展示	令和５年４月１日（土）～ 令和６年３月31日（日）
4	大阪府立弥生文化博物館	百間川原尾島遺跡打製石包丁 菰池遺跡打製石包丁	2	常設展示、 収蔵展示	令和５年４月１日（土）～ 令和６年３月31日（日）
5	美作市教育委員会	高本遺跡弥生土器、石器、土製紡錘車、円面硯 高本遺跡須恵器 大海廃寺軒丸瓦、軒平瓦、鴟尾	21	高本遺跡： 高本公民館展示 大海廃寺： 作東歴史民俗史料館展示	令和５年４月１日（土）～ 令和６年３月31日（日）
6	島根県立 古代出雲歴史 博物館	高塚遺跡出土突線鈕流水文銅鐸、貨泉、棒状銅製品 下庄遺跡製塩土器 上東遺跡製塩土器、漆容器、楽浪系土器、三韓系土器、分銅形土製品、弧帯文土器、絵画文土器、弥生土器 足守川加茂Ａ遺跡龍の絵画土器 足守川加茂Ｂ遺跡銅鏃・銅鏃未製品 百間川今谷遺跡ガラス滓 百間川原尾島遺跡ファイアンス小玉 百間川原尾島遺跡鉄鏃、彩文土器 ヒロダン遺跡鉄製品鉄鏃 神明遺跡銅鐸 加茂政所遺跡分銅形土製品 北溝手遺跡分銅形土製品 雲山鳥打1号弥生墳丘墓出土鶏形土器（複製） 津寺遺跡出土椀形滓、鉄製品 阿津走出遺跡製塩土器 畑ノ平古墳群須恵器、耳環、勾玉、丸玉、鉄滓、鉄製品	88	令和４年度 秋期企画展 「出雲と吉備」 展示	令和４年９月５日（月）～ 12月28日（木）
7	岡山大学 文明動態学研究所	百間川沢田遺跡石器、木製品、骨角器、石器、鉄器、弥生土器、土師器、銅剣、須恵器、ファイアンス玉 田益田中遺跡縄文土器深鉢 津島遺跡弥生土器、木製品、石器、特殊な器台、特殊な壺、特殊器台、須恵器、土師器 原尾島遺跡須恵器、有孔円盤、鉄製品、石器	49	特別展 「津島から世界へ、世界から津島へ」展示	令和５年１月24日（火）～ ３月31日（金）
8	備前市教育委員会	前内池古墳群須恵器杯身	4	備前市学芸員 採用試験	令和５年１月19日（木）～ １月24日（火）

２　写真画像等資料貸出・掲載許可

53件、計217点の写真画像等資料貸出、掲載許可を行った。

	依頼者	遺跡名　資料名	点数	目的
1	株式会社エディターズ	パンフレット「国指定史跡こうもり塚古墳」こうもり塚古墳入口、空から見たこうもり塚古墳、貝殻石灰岩製の石棺 画像	3	2022年7月～9月にJRが岡山県や観光関係団体と協力して開催する大型観光キャンペーン「岡山デスティネーションキャンペーン」の副読本として、『別冊 旅の手帖 岡山』で掲載
2	FILE Publications, inc.	センターＨＰ　こうもり塚古墳の横穴式石室と石棺 パンフレット「国指定史跡こうもり塚古墳」玄室入口の袖石と楣石、陶棺の蓋 「史跡こうもり塚古墳保存活用計画書」第26図　墳丘測量図	4	書籍『全国の古墳図鑑』（仮称／日本文芸社刊）にて掲載
3	山陽新聞社	「岡山県中世城館跡総合調査報告書」第２冊－備中編－第287図経山城跡縄張り図（1/2000）	1	弊社発行の改訂版「新釈備中兵乱記」（加原耕作著、監修内池英樹）に掲載
4	㈱TBSスパークル	センターＨＰ　矢部堀越遺跡出土特殊器台形埴輪	1	テレビの番組内（フリップ、VTR）で使用
5	岡山市教職員組合	センターＨＰ　百間川沢田遺跡出土縄文土器	1	夏休み中の児童のくらしと家庭学習のてびきとして、岡山県教職員組合が発行している、「夏休みの友」という冊子の６年生の社会科問題の参考写真として使用
6	公益財団法人山陽放送学術文化スポーツ振興財団	県報告144「大成山たたら遺跡群」巻頭図版１－１Ｂ区高殿たたら全景、図版27－６小鉄町～炭町（北から）、図版28－１土町（北東から）、28－８職人部屋（北東から）、第50図高殿建物建物平面図 センターＨＰ　大成山たたら遺跡群Ｂ区高殿たたら床釣り断面	6	シンポジウム記録集『近代岡山　殖産に挑んだ人々３』に掲載
7	吉備人出版	「岡山城二の丸跡　中国電力内山下変電所建設に伴う調査報告書」巻頭図版１－１高台寺様式の蒔絵鉢、１－２高台寺様式の蒔絵鉢	2	『絵図で歩く岡山城下町コンパクト版』に掲載
8	倉敷市船穂公民館	パンフレット「発掘！南山城跡」表紙写真	1	倉敷市船穂公民館「ふるさと歴史講座Ⅱ　発掘！南山城跡」広報用チラシに使用
9	特定非営利活動法人 著作権利用等に係る教育NPO	センターＨＰ　岡山市高塚遺跡出土流水文銅鐸	1	親和中学校 学校説明会での配布資料に使用
10	亀山行雄	県報告128「大岩遺跡ほか」図版５－23、「紀要」第２号　71頁写真３、72頁写真４、そのほか墓石、墓誌の写真等	30	備前市郷土史研究会の講演に使用
11	山陽新聞社	県報告93「中山西遺跡」図版２－２中山西遺跡Ｉ区ＡＴ下石器群（西から）	1	中央大などが岡山県北の旧石器遺跡の年代を特定したことを報じる新聞記事に掲載
12	株式会社ＫＡＤＯＫＡＷＡ	県報告191「土井遺跡」巻頭図版２－２１・２号窯と埴輪集積地（南西から） センターＨＰ　西江遺跡出土特殊壺と特殊器台	3	若狭徹『埴輪』【角川ソフィア文庫】（本文カラー、紙媒体と電子書籍）に掲載
13	和田剛	県報告89「甫崎天神山遺跡」図版32－２　堀切　埋土断面（北西から）	1	中国四国地区城館調査検討会in米子での発表資料（パワーポイント）として使用
14	古代歴史文化協議会	県報告256「城殿山遺跡」巻頭図版２－２　埋葬施設１出土鉄剣（Ｍ１）	1	共同調査研究事業成果図書『刀剣－武器から読み解く古代社会－』に掲載
15	公益財団法人新宿未来創造財団 新宿区立新宿歴史博物館	県報告94「足守川矢部南向遺跡」巻頭カラー図版５－２足守川矢部南向遺跡竪穴住居48出土　小銅鐸	1	特別展「新宿の弥生時代―教科書の弥生時代と比べてみると－」での展示パネル、リーフレット、広報（財団広報誌やホームページでの動画配信など）で使用
16	豊田市郷土資料館	千足古墳第１石室玄門部閉塞状況	1	豊田市史研究１４号（令和５年３月刊行）に掲載する仮題「西三河における横穴式石室導入期の様相」に掲載

	依頼者	遺跡名　資料名	点数	目的
17	島根県立 古代出雲歴史博物館	県報告51「百間川今谷遺跡１」ガラス滓 県報告56「百間川原尾島遺跡２」鉄鏃 県報告94「足守川加茂A遺跡・足守川加茂B遺跡」銅鏃・銅鏃未成品、絵画土器（器台片） 県報告98「津寺遺跡２」瓢形円環轡 県報告111「畑の平古墳群」耳管、丸玉、小玉、鉄滓、鉄鏃 県報告116「津寺遺跡４」碗形滓、鉄鏃、鉄鎌、鉄斧、鉄鑿 県報告138「加茂政所遺跡」分銅形土製品 県報告157「上東遺跡」製塩土器、漆容器、弧帯文土器（鉢）、絵画土器（鉢） 県報告158「上東遺跡」漆容器、分銅形土製品 県報告176「小坂向遺跡」鉄鏃 県報告179「百間川原尾島遺跡６」ファイアンス小玉 県報告234「北溝手遺跡」　分銅形土製品 雲山鳥打遺跡出土鳥形木製品（複製）	24	令和４年度企画展「出雲と吉備」において、図録パネル各種広報素材等に使用
18	篠向山を愛し城址を大切にする会	パンフレット「攻略！おかやまの中世城館　第６巻　備中国北部・中部編」 備中高松城跡 河内城跡、南山城跡	3	会報「ヨゥイクデ　篠向山」への掲載
19	鈴鹿市教育委員会	備中国分寺跡　南門跡 センター HP　備中国分寺跡南門付近からの風景、備中国分寺跡出土創建期軒丸瓦、創建期軒平瓦	4	令和４年度鈴鹿市考古博物館 伊勢国分寺跡史跡指定100周年記念 秋季特別展「国分寺」において備中国分寺跡を紹介するパネル展示及び図録等へ掲載するため。
20	島根県立 古代出雲歴史博物館	県報告16「上東遺跡」器台と壺 県報告56「百間川原原尾島遺跡２」図版15（下）井戸－16下層遺物出土状況、図版44－3465彩文土器 県報告71「阿津走出遺跡」巻頭図版２（下）阿津走出遺跡製塩土器 県報告82「矢部堀越遺跡」巻頭カラー図版３（下）特殊器台形埴輪（１号棺） 県報告98「津寺遺跡２」カラー写真図版２野上田調査区護岸施設 県報告111「畑の平古墳群」巻頭カラー図版１畑ノ平古墳群出土土器、巻頭カラー図版２（上） 畑ノ平６号墳遺物出土状況 県報告115「前山遺跡」図版１前山遺跡土壙墓群空中写真 県報告150「高塚遺跡」巻頭図版２方形土壙156出土銅製品、巻頭図版５フロヤ調査区袋状土壙18出土貨泉 県報告249「神明遺跡」巻頭図版３（上）銅鐸埋納抗土層断面、巻頭図版４銅鐸Ａ面 上東遺跡　製塩炉 西山遺跡　特殊器台	15	令和４年度企画展「出雲と吉備」において、図録パネル各種広報素材等に使用
21	和田剛	県報告258「岡山城本丸跡・二の丸跡」巻頭図版１－１中水手門調査区完掘状況（北東から）、巻頭図版２－１中水手門石垣４被覆土層（北から）、巻頭図版２－２金箔押し滴水瓦R22、巻頭図版３－２下水手門調査区完掘状況（東から）、巻頭図版５－２軒丸瓦丸瓦、図版10－１完掘状況（南から）、図版11－１完掘状況（南東から）、図版11－３石垣２基礎部分（南東から）	8	中世城郭研究会８月Web例会において、配付資料及びパワーポイント発表資料として使用

	依頼者	遺跡名　資料名	点数	目的
22	島根県立 古代出雲歴史博物館	パンフレット「吉備路の歴史遺産」赤色立体地図によるこうもり塚古墳、こうもり塚古墳の石室と石棺」 「史跡こうもり塚古墳保存活用計画書」写真４石棺陶棺２ 陶棺（蓋）、写真６出土品２須恵器	4	令和４年度企画展「出雲と吉備」において、図録パネル各種広報素材等に使用
23	鏡野町教育委員会 生涯学習課	パンフレット「発掘された久田の埋蔵文化財Ⅱ」久田堀ノ内遺跡館跡空撮画像	1	鏡野町郷土博物館講演会チラシ及び当日配付レジュメに使用
24	津山市長　谷口圭三	県報告８「領家遺跡」図版53－１Ｅ地点24号住居址竈部分 県報告32「野原早風遺跡」図版３作業風景 県報告86「窪木薬師遺跡」図版36出土鉄てい 県報告116「津寺遺跡」巻頭図版１－２ 県報告130「十六夜山古墳」巻頭図版１－１、１－２ 県報告150「高塚遺跡」巻頭図版５ 県報告168「福見口遺跡」図版３－１、３－２ 県報告183「樋ヶ鼻遺跡」図版20 県報告184「久田原遺跡」図版12　60外、図版13Ｓ34、35、36、巻頭図版１、図版26－３、図版72　1142、 報告192「久田堀ノ内遺跡」図版38Ｓ282、Ｓ283、図版61－２下段 県報告194「夏栗遺跡」図版11Ｓ68 県報告228「美作国府跡」図版29－１266苫刻 県報告242「鍛冶屋峪Ａ ５号墳」図版40－４ 県報告255「桑山南１号墳」図版６－３、センターＨＰ 西江遺跡出土特殊器台特殊壺 「神庭谷製鉄遺跡」巻頭図版４ページ最下段	22	新修　津山市史　通史編「自然風土原始古代」に掲載
25	山陽新聞社	パンフレット「発掘！南山城跡」南山城跡遠景	1	弊社発行の改訂版「新釈備中兵乱記」（仮）（加原耕作著、監修内池英樹）に掲載
26	毎日新聞旅行	「岡山県中世城館跡総合調査報告書」第２冊－備中編－写真131尾根中央　堀切（南西から） 「岡山県中世城館跡総合調査報告書」第１冊－備前編－写真196曲輪Ⅱ堀切堀切（南西から） 「岡山県中世城館跡総合調査報告書」第１冊－備前編－写真30堀切１・２（北から）	3	ホームページおよびパンフレット 「毎日文化探訪の旅」に掲載
27	株式会社ベネッセコーポレーション	県報告150「高塚遺跡」巻頭図版４フロヤ調査区出土高塚銅鐸Ｂ面	1	株式会社ベネッセコーポレーション発行の中学生向け通信教育教材に掲載のため
28	（株）梓書院	パンフレット「甦る！古代吉備の国謎の鬼ノ城」鬼ノ城全景」、城門 センターHP　特殊器台と特殊壺（新見市西江遺跡）、造山古墳空撮写真	4	2022年12月に刊行予定の書籍「よもやま邪馬台国」（豊田滋通著・梓書院刊）に掲載するため
29	テレビ朝日	「岡山県中世城館跡総合調査報告書」第２冊－備中編－第136図～第143図備中松山城跡縄張り図	8	番組の備中松山城ロケにて天守へと歩いて向かう際に使用
30	倉敷市教育委員会　ライフパーク倉敷　市民学習センター	県報告157「下庄遺跡・上東遺跡」 巻頭図版１－１遺物検出状況（南から）	1	くらしき市民講座「上東遺跡と弥生時代から古墳時代の暮らし」（令和５年３月１８日開講）広報のため、広報誌ライフパークアイ、ホームページ、館内ポスター（A4）、配布チラシに掲載
31	株式会社ジャパン通信情報センター	「所報吉備」第73号　高尾宮ノ前遺跡遺跡の位置（南西から）、重複する弥生時代と古墳時代の竪穴住居	3	「文化財発掘出土情報」2022年12月号～2023年1月号「各地の動向」に掲載

	依頼者	遺跡名　資料名	点数	目的
32	かつらぎ町教育委員会　教育長	センターHP　上東遺跡出土甕(炭化米、吹きこぼれ付着)	2	
33	岡山大学文明動態学研究所	県報告120「窪木遺跡」巻頭図版３縄文土器丹塗鉢 県報告189「長縄手遺跡」図版２　SA区遺構全景（南から）	2	岡山大学文明動態学研究所第１回特別展「津島から世界へ、世界から津島へ」のパネルとして使用
34	株式会社ベネッセコーポレーション	県報告150「高塚遺跡」巻頭図版４フロヤ調査区出土高塚銅鐸Ｂ面	1	株式会社ベネッセコーポレーション発行の中学生向け通信教育教材に掲載
35	百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議	センターHP　造山古墳航空写真	1	令和２年度に作成したパンフレットのデータを羽曳野市の電子図書館サービスへ提供
36	株式会社PHP研究所 第一事業制作局	センターHP 岡山市津寺遺跡の護岸施設	1	長野正孝著『古代史のテクノロジー（仮)』に掲載
37	株式会社吉備ケーブルテレビ	県報告57「田治部氏屋敷址」図版５－１・２、図版11－１	2	「ふるさと歴史物語№53　関候と土下座まつり【拡大版】」で放映
38	株式会社雄山閣	県報告65「樋本遺跡」巻頭図版２No. ７鍛冶炉・長方形状土壙	1	『季刊考古学162号』特集「鉄の考古学・最新研究の動向」に掲載
39	島根県古代文化センター	県報告213「中町B遺跡」巻頭図版６中町Ｂ遺跡　道路遺構	1	「古代出雲文化シンポジウム」（島根県古代文化センターＨＰ・島根県内ケーブルテレビで放映）内で使用
40	津山市長　谷口圭三	県報告216「大河内遺跡、稲穂遺跡、下坂遺跡」　巻頭図版１（大河内遺跡　縄文時代草創期の石器)、巻頭図版２－１(大河内遺跡　尖頭器)、図版14（縄文時代の石器）※Ｓ１～Ｓ４ 県報告209「総社遺跡　金井戸遺跡　北溝手遺跡」写真８（噴砂の状況） 県報告255「桑山南古墳群」巻頭図版１－２（桑山南１号墳　横穴式石室内遺物出土状況）	16	新修　津山市史　通史編「自然風土・原始・古代」に掲載
41	高崎市教育委員会	センターＨＰ　特殊器台と特殊壺（新見市西江遺跡）	1	かみつけの里博物館企画展「謎解き！はにわ入門」（仮）で、パネルとして使用のため。 企画展終了後は、常設展示で使用
42	津山市長　谷口圭三	県報告４「宮尾遺跡」図版11－２久米廃寺、写真40－１	2	新修津山市史通史編『自然風土・原始・古代』に使用
43	津山市長　谷口圭三	パンフレット「よみがえる久田の歴史」久田原遺跡　大洪水の痕跡 パンフレット「発掘された久田の埋蔵文化財Ⅱ」久田原遺跡　古墳時代初めの洪水土砂	2	新修津山市史　通史編「自然風土・原始・古代」に掲載
44	考古学研究会	県報告257「南山城跡」巻頭図版２－１南山城跡　近景（南上空から）	1	考古学研究会岡山例会第23回シンポジウムの広報のため掲載
45	和田剛	県報告245「岡山城二の丸跡」巻頭図版１－１堀１（南東から)、巻頭図版１－２堀１石積（北東から）	2	『織豊城郭』第20号「岡山城検出石垣の年代と分布―主に慶長・元和年間の大規模普請に関して―」に掲載
46	中央大学人文科学研究所	県報告93「中山西遺跡」図版２－２中山西遺跡Ⅰ区AT下石器群（西から）	1	公益財団法人日本アイソトープ協会発行の『Isotope　News』に掲載
47	株式会社　グレイル	県報告157「上東遺跡」巻頭図版１－１遺物検出状況、巻頭図版６－１卜骨（表）上東遺跡出土器 「所報吉備」第54号　上相遺跡鍛冶工房とみられる建物	5	中公ムック歴史と人物14『目からウロコ　日本古代の新常識！』（仮称）に掲載
48	岡山県教職員組合	センターHP　百間川原沢田遺跡出土縄文土器	1	岡山県教職員組合発行『夏休みの友』に掲載
49	株式会社新泉社	県報告114「百間川兼基遺跡２」巻頭図版２大上田調査区出土人形土製品	1	シリーズ「遺跡を学ぶ」別冊6『弥生時代ガイドブック』に掲載

	依頼者	遺跡名　資料名	点数	目的
50	株式会社テレビマンユニオン	センターＨＰ　土器の表面に残る籾の痕跡（総社市南溝手遺跡）、籾の痕跡の拡大写真、プラント・オパール（総社市南溝手遺跡）、列島各地との交流を示す考古資料、東日本系の土器（岡山市百間川沢田遺跡）、九州地方との交流を示す土器（総社市南溝手遺跡）	7	「Trails to Oishii Tokyo 米」で放映
51	株式会社テレビマンユニオン	センターＨＰ　縄文時代後期の籾のついた土器（総社市南溝手遺跡）、籾痕のついた土器片のアップ	2	「Trails to Oishii Tokyo 米」で放映
52	交野市立教育文化会館（歴史民俗資料展示室）	県報告178「八ヶ奥製鉄遺跡」図版１－５と別アングルのもの	2	「交野の王墓と鉄器生産」交野市立教育文化会館特別展示で使用
53	株式会社現代書館	県報告144「大成山たたら遺跡群」巻頭図版１－２ 「奥土用・神庭谷製鉄遺跡」神庭谷製鉄遺跡 高殿床釣り 横断面（東から） センターＨＰ　高松城水攻め築堤跡（蛙ヶ鼻）（ホームページの画像）	3	現代書館刊『シリーズ藩物語　岡田藩』の説明図版として使用

３　資料調査対応

大学教官、学生、都道府県・市町村埋蔵文化財専門職員等の研究、及び博物館特別展等の準備のため、依頼されて収蔵資料調査に対応した。令和４年度は32件の申請、約2300点以上の資料調査に対応した。

（８）ホームページ・メールマガジン

センターホームページ（https://www.pref.okayama.jp/site/kodai/）の内容について45回更新し、計117,969アクセスを得た。メールマガジン（岡山県メールマガジン「メルマガ晴れの国：大地からの便り」）の現在の登録者数は392人であり、年間35回発行した。このほか、Facebookを利用し、実施事業の広報を行った。

（９）おかやま全県統合型ＧＩＳ

センターが発掘調査、報告書作成等で関係した県内の埋蔵文化財包蔵地情報について、情報更新票を作成した。令和４年度は新規２件を作成し、既知23件についてその内容を更新し、県文化財課に提出した。この情報は県文化財課から該当市町村に照会確認を行った後、埋蔵文化財包蔵地登録更新となり、「おかやま全県統合型ＧＩＳ」において公開される。

なお、本節に記した公開活用事業のうち下記のものは国庫補助事業（地域の特色ある埋蔵文化財活用事業）である。

● 吉備の考古学講座　● 史跡こうもり塚古墳シンポジウム　● 夏休み企画☆ワクワク古代体験！
● 津島遺跡やよいまつり　● 吉備路ウオーク
● 遺跡めぐりマップ『おかやま☆遺跡探訪　津山市西部と鏡野町周辺』作成
● ガイドブック『史跡こうもり塚古墳』作成　● パンフレット『美作・佐良山の古墳』作成
● 史跡こうもり塚古墳シンポジウム特製クリアファイル作成
● 津島遺跡やよいまつりクイズラリー景品（マスキングテープ）の作成

第５節　教育支援事業

（１）センター施設・発掘調査現場見学

センター施設や発掘調査現場での校外学習を受入れ、施設内の調査作業や発掘調査現場作業、出土品解説などを行い、歴史学習支援を行った。令和４年度は19校、計1,186名を受け入れた。

	見学日	学校名	人数	見学場所
1	令和４年４月27日（水）	岡山市立中山小学校	80名	センター
2	令和４年５月９日（月）	岡山市立御南小学校	132名	センター
3	令和４年５月19日（木）	岡山市立桃丘小学校	24名	センター
4	令和４年５月27日（金）	岡山市立芳明小学校	88名	センター
5	令和４年６月２日（木）	岡山市立陵南小学校	142名	センター
6	令和４年６月２日（木）	美作市立英田小学校	11名	センター
7	令和４年６月２日（木）	岡山市立箕島小学校	56名	センター
8	令和４年６月８日（水）	岡山市立横井小学校	154名	センター
9	令和４年６月８日（水）	美作市立大原小学校	20名	尾崎遺跡発掘調査現場（美作市）
10	令和４年６月10日（金）	岡山市立馬屋下小学校	31名	センター
11	令和４年６月17日（金）	岡山市立七区小学校	32名	センター
12	令和４年６月17日（金）	岡山市立岡南小学校	97名	センター
13	令和４年６月24日（金）	岡山市立曽根小学校	35名	センター
14	令和４年６月24日（金）	岡山市立第二藤田小学校	54名	センター
15	令和４年６月24日（金）	岡山市立妹尾小学校	94名	センター
16	令和４年６月30日（木）	岡山市立彦崎小学校	42名	センター
17	令和４年７月６日（水）	美作市立東粟倉小学校	７名	尾崎遺跡発掘調査現場（美作市）
18	令和４年７月14日（木）	津山市立西小学校	39名	センター
19	令和４年11月16日（水）	津山市立佐良山小学校	48名	高尾宮ノ前遺跡発掘調査現場（津山市）

（２）津島遺跡見学

史跡整備した津島遺跡（岡山市）と遺跡＆スポーツミュージアムでの校外学習を受入れ、弥生時代の暮らしを中心に説明を行い、歴史学習の一助とした。令和４度は７校、計482人を受け入れた。なお、説明にはミュージアムスタッフ、津島遺跡ボランティアの援助を得た。

	見学日	学校名	人　数
1	令和４年４月28日（木）	岡山市立鹿田小学校	157名
2	令和４年５月31日（火）	吉備中央町立大和小学校	15名
3	令和４年６月14日（火）	玉野市立宇野小学校	30名
4	令和４年６月15日（水）	岡山市立伊島小学校	153名
5	令和４年６月17日（金）	岡山市立甲浦小学校	49名
6	令和４年７月１日（金）	備前市立日生西小学校	20名
7	令和４年10月19日（水）	ノートダム清心女子大学附属小学校	58名

（３）職場体験・出前授業

センターでの進路学習・職場体験、学校への出前授業を行った。令和４年度はのべ14校計406名の児童・生徒を対象とした。

	日	内容	学校種	学校名	人数	場所
1	令和４年６月２日（木）	職場体験	中学校	美作市立大原中学校	３名	尾崎遺跡 調査現場
2	令和４年７月15日（金）	出前授業	高等学校	岡山県立岡山工業高校	317名	学校
3	令和４年７月25日（月）	出前授業	高等学校	岡山県立倉敷天城高校	５名	センター (リモート授業)
4	令和４年８月２日（火）	進路学習	高等学校	岡山県立倉敷青陵高校	11名	センター
5	令和４年10月12日（水） ～14日（金）	職場体験	中学校	岡山市立京山中学校	２名	センター
6	令和４年10月18日（火） ～20日（木）	職場体験	中学校	岡山市立御南中学校	２名	センター
7	令和４年10月22日（土）	出前授業	中学校	岡山市立中山中学校	24名	学校
8	令和４年11月10日（木） ～11日（金）	職場体験	中学校	岡山市立中山中学校	３名	センター・ 津島遺跡
9	令和４年11月15日（火）	職場体験	中学校	岡山市立芳泉中学校	８名	センター
10	令和４年11月16日（水）	職場体験	中学校	岡山市立吉備中学校	６名	センター
11	令和４年11月16日（水） ～17日（木）	職場体験	中学校	岡山市立高松中学校	３名	センター
12	令和４年11月16日（水） ～18日（金）	職場体験	中学校	山陽学園中学校	２名	センター
13	令和４年12月13日（火）	出前授業	小学校	新庄村立新庄小学校	16名	学校
14	令和４年12月24日（土）	出前授業	高等学校	岡山県立倉敷天城高校	４名	常山城跡 (現地案内)

小学校センター見学

小学校津島遺跡見学

学校利用によるセンター施設、発掘調査現場、津島遺跡見学、職場体験、出前授業の総計は、39校、2,074人であった。このほか、生涯学習課が管理する教育支援デジタルコンテンツ『まなびとサーチ』にセンター関連の１本の動画と学習支援パンフレット10冊を登録している。

第６節　市町村支援事業

埋蔵文化財専門職員が配置されていない県下市町村が実施する発掘調査や報告書作成などに対して、職員を派遣する等の支援を行った。

（１）災害復旧及び保存調査に伴う智頭往来志戸坂峠越確認調査

市町村名：英田郡西粟倉村

遺 跡 名：智頭往来志戸坂峠越　　所 在 地：英田郡西粟倉村坂根518-４ほか

調査期間：令和４年10月18～20日（災害復旧）　令和４年11月９日～14日（保存調査）

調査面積：4.5㎡（災害復旧）　5.5㎡（保存調査）

担 当 者：和田　剛　　調査成果：近代の道路、石垣

（２）町道泉・田ヶ原線新築に伴う発掘調査

市町村名：和気郡和気町

遺 跡 名：藤野遺跡　　所 在 地：和気郡和気町藤野486-２ほか

調査期間：令和４年６月27日～９月30日　　調査面積：442.9㎡

担 当 者：石田爲成

調査成果：弥生・古墳時代の集落、古代の官衙関連遺跡

（３）中ノ谷横穴墓発掘調査・報告書作成

市町村名：真庭郡新庄村

遺 跡 名：中ノ谷横穴墓　　所 在 地：真庭郡新庄村字中ノ谷907

調査期間：令和４年５月９～27日　　調査面積：21㎡

担当者：四田寛人　　調査成果：古墳時代の墓

第７節　専門職員研修等

埋蔵文化財専門職員の資質向上のため、所内研修及び市町村職員を含む埋蔵文化財担当者職員研修会を開催した。また、奈良文化財研究所文化財担当者専門研修、文化庁主催埋蔵文化財担当職員講習会を受講した。なお、奈良文化財研究所文化財担当者専門研修「文化財三次元計測入門課程」の地域開催（岡山県教育委員会協力）の会場として、当センターの利用があった。

（１）所内研修

日時	内容	講師
令和４年６月20日（月）～21日（火）	こうもり塚古墳発掘調査現場視察研修	調査第一課　金田善敬
令和４年９月２日（金）	山陽地方における横穴式石室の導入について	調査第二課　藤井雅大
令和４年９月14日（水）～16日（金）	尾崎遺跡発掘調査現場視察研修	調査第三課　物部茂樹
令和４年９月30日（金）	第１回発掘調査状況報告	各調査担当者
令和４年10月31日（月）	日本を支えた鉱業遺産「吉岡銅山跡」	参事　柴田英樹
令和４年11月１日（火）・２日（水）・４日（金）	高尾宮ノ前遺跡発掘調査現場視察研修	調査第二課　團　奈歩
令和５年１月31日（火）	古墳時代の刀剣	調査第一課　石田爲成
令和５年２月28日（火）	第２回発掘調査状況報告	各調査担当者

日時	内容	講師
令和５年２月28日（火）	文化財を繋ぐこと	所長　大橋雅也
令和５年３月１日（水）～２日（木）	酒津遺跡発掘調査現場視察研修	調査第一課　石田爲成 調査第三課　渡邉恵里子

（２）埋蔵文化財担当職員研修会

	日　時	内　容・講　師	参加者数
第１回	令和４年６月９日（木） 13：00～16：00	講演：「松江市、島根県教育委員会の文化財調査研究と活用の取り組み」 松江市歴史まちづくり部　文化財総合コーディネーター　丹羽野　裕 講演：「文献学からみた古墳時代の吉備」 岡山大学文明動態学研究所　今津勝紀	45名
第２回	令和５年１月20日（金） 10：00～15：00	講義：「文化財の三次元計測概説」 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長　金田明大 実習：SfM-MVSを利用した三次元計測実習 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター研究員　山口欧志	16名

（３）奈良文化財研究所文化財担当者研修受講

期間	内容	受講者
令和４年９月12日（月）～16日（金）	遺跡調査技術課程	調査第二課　藤井雄一
令和５年１月17日（火）～19日（木）	文化財三次元計測入門課程	調査第二課　米田克彦　藤井雅大　山口香織 調査第三課　間所克仁　西村　奏

（４）埋蔵文化財担当職員等講習会受講

	日時	受講者
第１回	令和４年８月31日（水）～９月１日（木）	調査第二課　藤井雅大 調査第三課　渡邉恵里子　間所克仁
第２回	令和５年２月８日（水）～９日（木）	調査第一課　四田寛人 調査第二課　米田克彦 調査第三課　氏平昭則

埋蔵文化財担当職員研修会

奈良文化財研究所文化財担当者研修
「文化財三次元計測入門課程」地域開催

第８節　調査指導会等

（１）埋蔵文化財保護調査指導会

発掘調査、及び報告書作成を適切かつ円滑に進めるとともに、その成果・内容についての客観性を確保するため、大学教官等県内の有識者に委員を委嘱し、埋蔵文化財調査指導会を設け、指導助言を得た。令和４年度は３事業において開催した。なお、本指導会は文化財課が主催した。

１　一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う埋蔵文化財保護調査指導会

委　　員：亀田修一（岡山理科大学）、澤田秀実（くらしき作陽大学）、清家　章（岡山大学）、仁木康治（津山市）

開 催 日：令和４年７月６日（水）、９月28日（水）、令和５年２月24日（金）

協議事項：発掘調査状況、報告書作成状況

２　高梁川河川整備事業に伴う埋蔵文化財保護調査指導会

委　　員：稲田孝司（元岡山大学）、出宮徳尚（元岡山市教育委員会）、野﨑貴博（岡山大学文明動態学研究所）、伴　祐子（倉敷考古館）、福本　明（岡山商科大学）

開 催 日：令和４年10月18日（火）、12月20日（火）、令和５年２月16日（木）

協議事項：発掘調査状況

３　一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴う埋蔵文化財保護調査指導会

委　　員：白石　純（岡山理科大学）、平岡正宏（津山市）、湊　哲夫（元津山郷土博物館）、山本悦世（元岡山大学）、行田裕美（元津山市教育委員会）

開 催 日：令和５年１月30日（月）

協議事項：報告書作成状況

（２）埋蔵文化財専門委員による現地指導

発掘調査等を円滑に進めるとともに、その成果・内容についての客観性を確保するため、文化財課が有識者に委員を委嘱し、指導助言を得た。

委　　員：亀田修一（岡山理科大学）、山本悦世（元岡山大学）

指 導 日：令和４年８月30日（火）

指導事項：一般国道429号改築工事に伴う発掘調査状況
町道泉・田ヶ原線新築に伴う発掘調査状況（和気町事業　県支援）

（３）史跡こうもり塚古墳調査指導会

「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業として、史跡こうもり塚古墳の発掘調査、総合調査報告書作成を適切かつ円滑に進めるとともに、その成果・内容についての客観性を確保するため、有識者に委員を委嘱し、指導助言を得た。

委　　員：亀田修一（岡山理科大学）、清家　章（岡山大学）、土生田純之（専修大学）

オブザーバー：浅野啓介（文化庁）、芝　康次郎（文化庁）、河合　忍（県文化財課）

開　催　日：令和４年６月13日（月）、11月１日（火）

第９節　古代歴史文化に関する共同調査研究事業

古代歴史文化にゆかりの深い県が互いに連携して、各県が集積してきた考古学及び古代史の研究成果を基礎に、共同調査研究することによって、個々地域的な研究だけでは見えにくかった日本の大きな古代史の流れを解明することを狙いとし、14県が平成26年11月に古代歴史文化協議会を設立した。令和元年度～４年度は「古墳時代の刀剣類」をテーマに研究を進めた。

１　構成県

埼玉県・石川県・福井県・三重県・奈良県・兵庫県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・福岡県・佐賀県・宮崎県

２　共同調査研究集会

第15回研究集会　令和４年８月３日（水）～４日（木）　大阪府大阪市

第16回研究集会　令和５年１月16日（月）～17日（火）　奈良県奈良市・天理市

３　古代歴史文化講演会　第６回「刀剣が語る巨大古墳の時代」

会　　場：大阪歴史博物館　４階　講堂（大阪府大阪市）

開 催 日：令和４年10月30日（日）

主　　催：古代歴史文化協議会

共　　催：大阪歴史博物館

内　　容：基調講演「古墳時代中期の政権構造と軍事－百舌鳥・古市古墳群の武器－」

講師　田中晋作（山口大学）

パネルディスカッション「刀剣が語る巨大古墳の時代」

参加者　田中晋作氏、兵庫県、奈良県、広島県、佐賀県、宮崎県の研究担当者

入場者数：130名

＊大阪歴史博物館・古代歴史文化協議会主催特別企画展『刀剣～古代の武といのり～』関連シンポジウムとして開催

＊令和5年２月17日から、オンライン動画公開を実施

４　展覧会　特別企画展『刀剣～古代の武といのり～』

会　　場：大阪歴史博物館　６階　特別展示室（大阪府大阪市）

会　　期：令和４年10月15日（土）～12月４日（日）

主　　催：大阪歴史博物館　古代歴史文化協議会

入 場 者：26,725名

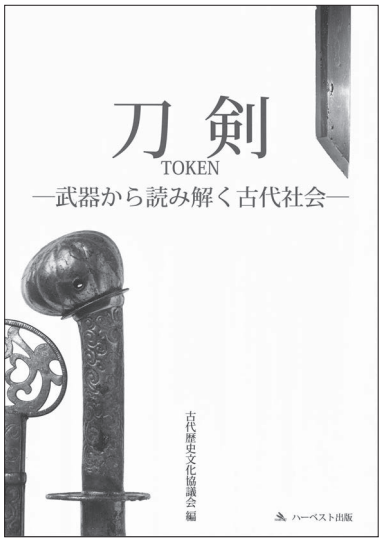
５　成果図書　『刀剣－武器から読み解く古代社会－』

古代歴史文化協議会編集・発行

刊 行 日：令和４年10月11日

体　　裁：Ａ5判、260頁、オールカラー

初　　刷：3,000冊



成果図書の表紙

第10節　労働安全衛生

（1）安全衛生委員会

発掘調査現場や施設内での各種作業等における職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的にセンター内に安全衛生員会を設置し、年間12回の安全衛生委員会を開催した。

1　委員会の構成と重点目標

委員長（総括安全衛生管理者）、副委員長（総括安全衛生管理者職務代理者）、産業医、安全管理者、衛生管理者、その他委員　計18名

重点目標：『労災ゼロ』

標　　語：『労災は　慣れと油断と　過信から』

2　安全衛生研修

第１回　令和４年７月１日（金）

産業医による安全衛生に関する講話

3　各現場研修

調査現場及び整理作業におけるヒヤリハット運動とその報告

4　安全衛生管理状況現場巡視

職員相互による巡視を行い、調査現場の安全衛生管理状況について確認した。巡視結果と改善点については、安全衛生員会で報告し、情報共有を図った。

	期日	調査現場遺跡	重点項目
第１回	令和４年５月17日（火）	高尾宮ノ前遺跡	風雨対策　現場通路の安全対策
第２回	令和４年８月４日（木）	尾崎遺跡	暑さ対策　現場通路の安全対策
第３回	令和４年10月６日（木）	高尾宮ノ前遺跡	火災予防　現場通路の安全対策
第４回	令和４年11月30日（水）	センター	危険箇所や改善箇所の確認
第５回	令和５年２月15日（水）	酒津遺跡	降雪・霜対策　現場通路の安全対策

尾崎遺跡発掘調査現場巡視

高尾宮ノ前遺跡現場事務所巡視

（２）各種資格取得・受講

安全管理者選任時研修：柴田参事

職長・安全衛生責任者教育：團総括副参事　石田主幹

地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習：藤井（雅）主事

足場の組み立て等作業主任者技能講習：藤井（雅）主事

ドローン検定３級：渡邉総括副参事　山口主事　西村主事

＊参考　令和４年度以前の資格取得・受講

① 衛生管理者
第一種：大橋　柴田　小嶋　和田　石田　四田　金田　藤井（翔）　弘田　米田　氏平　藤井（雅）
團　澤山　渡邉　岡本　物部　第二種：髙田
② 安全管理者選任時研修
大橋　柴田　髙田　澤山　弘田　團　石田
③ 職長・安全衛生責任者教育
小嶋　米田　渡邉　物部　石田
④ 地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習
大橋　柴田　髙田　小嶋　和田　石田　金田　藤井（翔）　弘田　米田　氏平　藤井（雅）團
澤山　渡邉　岡本　物部
⑤ 有機溶剤作業主任者技能講習
小嶋　和田　四田　金田　渡邉　氏平　物部　石田　小林（利）
⑥ 自由研削といし取替え等の特別教育
大橋　柴田　髙田　小嶋　和田　金田　藤井（翔）　弘田　米田　藤井（雅）　團　澤山　渡邉
岡本　氏平　物部　石田
⑦ 足場の組み立て等作業主任者技能講習
金田　藤井（雅）
⑧ ドローン検定３級
四田　藤井（翔）　藤井（雅）　岡本　氏平　渡邉　山口　西村

第11節　施設等の修繕

令和４年度に実施した施設等の修繕は、次のとおりである。

番号	場　所	内　　容
1	本館１階	男子トイレ換気扇取替
2	本館２階調査員室入口	建具取替
3	本館２階調査員室	火災報知器取替
4	本館２階復元室	ブラインド取替
5	本館３階収蔵庫	照明器具取替
6	本館３階収蔵庫	非常照明器具取替
7	本館１階玄関、	建具調整
	２階実測室入口・非常口	ドアクローザー取替
8	新収蔵庫	消火栓給水槽ボールタップ取替
9	新収蔵庫	消火栓ホース取替

第12節　文化財保護法に基づく提出書類

（１）史跡の現状変更許可申請（法第125条）

番号	申請文書番号日付	史跡名	所在地	目的	申請者	期間	指示の内容	許可文書番号
1	教文埋第1886号 令和４年３月４日	史跡 こうもり塚古墳	総社市上林 1236-１ほか	発掘調査	岡山県教育委員会教育長	令和４年 ５月６日～ ６月29日	実施にあたっては、岡山県文化財担当部局の指導を受ける	４文庁第19号 令和4年4月22日
2	岡吉調第38号 令和４年７月５日	史跡 こうもり塚古墳	総社市上林 1236-１	工作物の設置 （鑑定）	岡山県古代吉備文化財センター所長	令和４年 ８月22日	実施に当たっては、総社市長の指示を受ける。	総社市指令観第11号令和4年7月19日
3	岡吉調第63号 令和４年８月４日	史跡 津島遺跡	岡山市北区 いずみ町１-１	津島遺跡やよいまつりのためテントを設置	岡山県古代吉備文化財センター所長	令和４年 10月21日～ 10月24日	実施にあたっては、岡山市教育委員会文化財課の指示に従うこと。	岡山市教育委員会指令文第573-1号令和4年8月8日

（２）埋蔵文化財試掘確認調査の報告（法第99条）

番号	文書番号日付	周知／未周知	遺跡名称 時代 種類	所在地	面積（㎡）	原因事業	包蔵地有無	報告者	担当者	調査期間
1	岡吉調第42号 令和４年６月20日	周知	宮坂遺跡 奈良・平安 集落跡	美作市位田 714ほか	100	一般国道374号 （美作岡山道路） 改築工事	有	岡山県古代吉備文化財センター所長	四田寛人	令和４年 ６月13日～ ６月20日
2	岡吉調第44号 令和４年７月５日	未周知	（こうもり塚古墳周辺） 古墳～平安 古墳	総社市上林 1215-１、 1215-２	43	「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業	有	岡山県古代吉備文化財センター所長	金田善敬 藤井翔平 小林有希子	令和４年 ５月６日～ ６月29日
3	岡吉調第41号 令和４年７月６日	周知	向山遺跡 弥生～中世 散布地	瀬戸内市長船町飯井2182-１ほか	70.5	広域河川改修 （干田川）	有	岡山県古代吉備文化財センター所長	小嶋善邦 間所克仁	令和４年 ６月27日～ ６月30日
4	岡吉調第96号 令和４年11月28日	周知	高尾宮ノ前遺跡 弥生・古墳・中世 集落跡	津山市高尾 1282ほか	130	一般国道53号 （津山南道路） 改築工事	有	岡山県古代吉備文化財センター所長	四田寛人	令和４年 11月９日～ 11月21日
5	岡吉調第137号 令和５年２月１日	未周知		笠岡市園井 277-１、 597-１、 598-１	39.6	県道園井里庄線地方道路整備事業道路改築	無	岡山県古代吉備文化財センター所長	小嶋善邦 四田寛人	令和５年 1月23日～ 1月27日

（３）埋蔵文化財発掘調査の報告（法第99条）

番号	文書番号日付	遺跡名称 時代 種類	所在地	面積（㎡）	原因事業	報告者	担当者	期間
1	岡吉調第２号 令和４年４月１日	高尾宮ノ前遺跡 弥生～中世 集落跡	津山市高尾 793ほか	3,600	一般国道53号 （津山南道路）改築工事	岡山県古代吉備文化財センター所長	團　奈歩 山口香織 藤井雄一 西村　奏 間所克仁	令和４年４月１日～ 令和５年３月31日
2	岡吉調第15号 令和４年５月９日	尾崎遺跡 縄文～中世 集落跡	美作市古町 1869-１ほか	1,000	一般国道429号改築工事	岡山県古代吉備文化財センター所長	物部茂樹 西村　奏 北門幸二郎	令和４年５月９日～ 10月31日
3	岡吉調第91号 令和４年11月８日	水江遺跡 弥生～中世 集落跡	倉敷市水江 地先	650	高梁川河川整備事業	岡山県古代吉備文化財センター所長	澤山孝之 渡邉恵里子 石田爲成 藤井雅大 間所克仁 北門幸二郎 森本　蓮	令和４年11月８日～ 令和５年３月31日

番号	文書番号日付	遺跡名称 時代 種類	所在地	面積 （㎡）	原因事業	報告者	担当者	期間
4	岡吉調第109号 令和４年12月19日	酒津遺跡 弥生～中世 散布地・集落跡	倉敷市酒津地先	1,155	高梁川河川整備事業	岡山県古代吉備文化財センター所長	澤山孝之 渡邉恵里子 石田爲成 藤井雅大 間所克仁 北門幸二郎 森本　蓮	令和４年12月19日～令和５年３月31日

（４）埋蔵文化財発見の通知（法第100条第２項）

番号	文書番号 日付	物件名	出土地 遺跡名称	出土年月日	発見者	土地 所有者	現保管場所	発見の理由
1	岡吉調第31号 令和４年６月20日	須恵器・土師器ほか	美作市位田714ほか 宮坂遺跡	令和４年６月13日～６月20日	岡山県教育委員会教育長	岡山県	岡山県古代吉備文化財センター	一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴う確認調査
2	岡吉調第34号 令和４年６月30日	土師器・陶磁器・瓦ほか	総社市上林1236-１ほか 史跡こうもり塚古墳	令和４年５月６日～６月29日	岡山県教育委員会教育長	岡山県	岡山県古代吉備文化財センター	「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業に伴う発掘調査
3	岡吉調第35号 令和４年６月30日	須恵器・土師器・埴輪ほか	瀬戸内市長船町飯井2182-１ほか 向山遺跡	令和４年６月27日～６月30日	岡山県教育委員会教育長	岡山県	岡山県古代吉備文化財センター	広域河川改修（干田川）に伴う確認調査
4	岡吉調第90号 令和４年10月27日	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・勝間田焼・備前焼・青磁・白磁・瓦・石製品・鉄滓ほか	美作市古町1869-1ほか 尾崎遺跡	令和４年５月９日～10月27日	岡山県教育委員会教育長	岡山県	岡山県古代吉備文化財センター	一般国道429号改築工事に伴う発掘調査
5	岡吉調第117号 令和４年12月27日	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・陶器・土製品・鉄器・銅銭・骨	倉敷市 水江地先 水江遺跡	令和４年11月８日～12月27日	岡山県教育委員会教育長	国土交通省	岡山県古代吉備文化財センター	高梁川河川整備事業に伴う発掘調査
6	岡吉調第133号 令和５年１月27日	土師器・須恵質土器ほか	笠岡市園井227-１、597-１、598-１	令和５年１月23日～１月27日	岡山県教育委員会教育長	岡山県	岡山県古代吉備文化財センター	県道園井里庄線地方道路整備事業道路改築に伴う試掘調査
7	岡吉調第160号 令和５年３月10日	弥生土器・土師器・須恵器・土製品・金属製品・鉄滓・獣骨・桃核	倉敷市 酒津地先 酒津遺跡	令和４年12月19日～令和５年３月10日	岡山県教育委員会教育長	国土交通省	岡山県古代吉備文化財センター	高梁川河川整備事業に伴う発掘調査
8	岡吉調第172号 令和５年３月15日	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・勝間田焼・備前焼・青磁・白磁・染付・陶棺・瓦・土製品・石器・石製品・金属製品・銭貨・鉄滓ほか	岡山県津山市高尾793ほか 高尾宮ノ前遺跡	令和４年４月６日～令和５年３月15日	岡山県教育委員会教育長	国土交通省 津山市	岡山県古代吉備文化財センター	一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う発掘調査

第４章　調査の概要

第１節　試掘確認調査概要

（１）一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴う確認調査

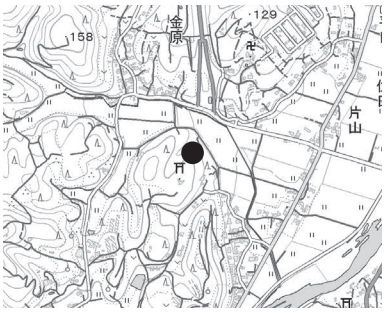
宮坂遺跡（みやさか）

所 在 地：美作市位田714ほか（みまさか　い でん）　　調査期間：令和４年６月13日～20日

担 当 者：四田寛人　　調査面積：100㎡

調査の経過

調査地は、吉野川西岸に位置する低丘陵の北に伸びる尾根上とその東斜面である。須恵器片が調査地周辺で表採されており、丘陵上に遺跡の存在が想定されたため５本のトレンチを設定し調査を行った。Ｔ１は鷺神社の位置する尾根より東に下る斜面、Ｔ２は北向きの尾根上、Ｔ３・４は尾根より北東方向に下る緩斜面、Ｔ５は丘陵裾の畑地の平坦面から斜面にかけて設定した。



調査位置図（1/25,000）

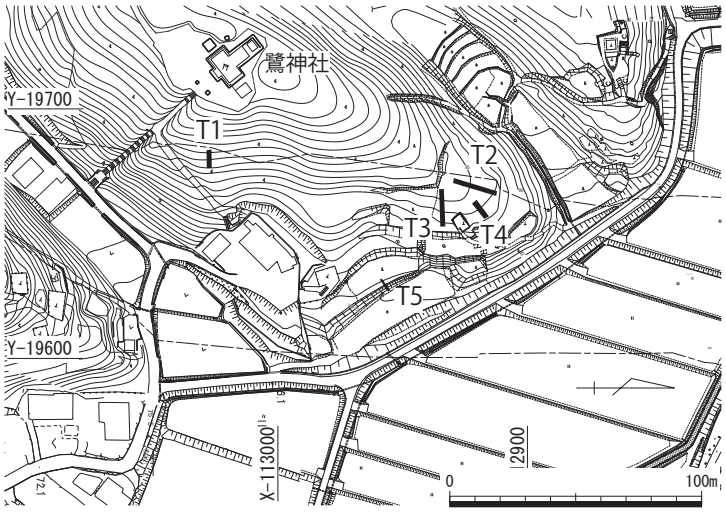
調査の概要

Ｔ１は表土下約30cm、Ｔ２・Ｔ３は表土下約10cmで岩盤を確認した。いずれのトレンチでも遺構は検出していない。遺物は、Ｔ２表土中から近世以降と思われる瓦が１点出土している。

Ｔ４は、表土下約10cmで岩盤を確認し、柱穴２本と土坑１基を検出している。柱穴１は直径約27cm、深さ約35cmで、埋土中から古代の須恵器杯身の底部や土師器片が出土した。柱穴２は柱穴１と同様の褐色土で埋まっているが、遺物は出土していない。トレンチ北東端で検出した土坑１は直径約90cm、深さ約20cmで、腐植土を含む土で埋没している。Ｔ４北東端周辺では近世以降の墓地と考えられる造成面や墓石などがみられることから、この土坑は墓地に伴うものと思われる。遺物は出土していない。遺構に伴わない遺物として、近世以降と思われる瓦がある。

Ｔ５は表土下約2.3mで岩盤を確認した。表土直下は畑地の耕作土であり、その下に暗褐色を呈する旧表土が認められた。基盤層は岩盤由来の礫を含む粘性の強い微砂で、谷地形の斜面堆積土と考えられる。このような堆積の状況から、旧表土を埋める形で造成が行われ、現地形である畑地が形成されたと考えられる。耕作土中から瓦質土器と思われる土器が出土した。

（四田）



トレンチ配置図（1/3,000）

（２）広域河川改修（干田川）に伴う確認調査

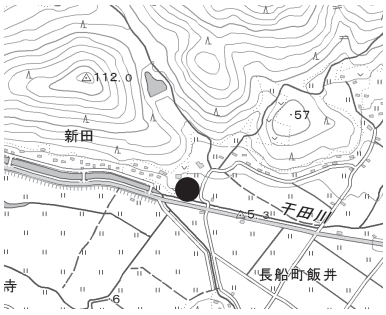
向山遺跡（むこうやま）

所 在 地：瀬戸内市長船町飯井（せとうち　おさふねちょういい）2182－1ほか　　調査期間：令和４年６月27日～30日

担 当 者：小嶋善邦・間所克仁　　調査面積：70.5㎡

調査の経過

調査地は、向山遺跡や大塚古墳群が所在する丘陵の南裾部にあたり、その南側には干田川が西流している。今回、向山遺跡の広がりと残存状況を確認するため、この丘陵と干田川に挟まれた水田に、３本のトレンチを設定し、調査を行った。



調査位置図（1/25,000）

調査の概要

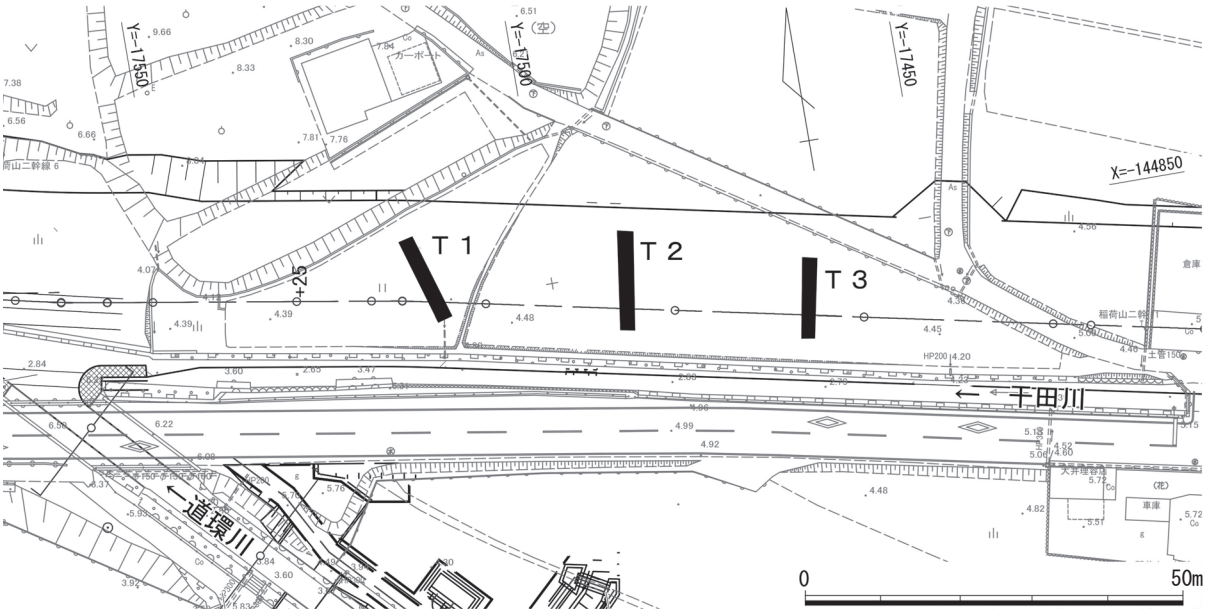
いずれのトレンチからも遺構は確認できなかったが、Ｔ１の基盤層上面から古墳時代～古代にかけての遺物が多く出土した。これら遺物は、丘陵上に所在していた遺跡から流れ込んだものと推測される。

Ｔ１では、トレンチ北西側が水平に削平されているものの、南東に向かって下がる基盤層を確認した。基盤層の斜面部には、古墳時代～古代の遺物を含む黒褐色粘質微砂や有機質を含む黒褐色シルト～粘土が堆積しており、その土質からこの場所は、滞水と流水を繰り返す自然流路もしくは湿地であったと想定される。水平に削平された基盤層の上には中世の遺物を含む水田層が認められることから、この場所での水田耕作が中世以後であったと判断される。

Ｔ２では、Ｔ１と異なり基盤層が南から北に向かって緩やかに下がっている。遺構は検出されなかったものの、古墳時代以前の自然流路もしくは窪みの北肩部と、古代以降の自然流路の南肩部が確認された。遺物は、古代～中世の土師器などが出土している。

Ｔ３では、Ｔ２と同様に基盤層が南から北に向かって緩やかに下がっている状況が確認された。また、古代以降の自然流路の南肩部も検出され、この流路が東－西方向に流走していたことが明らかとなった。

（小嶋）



トレンチ配置図（1/1,000）

（３）一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う確認調査

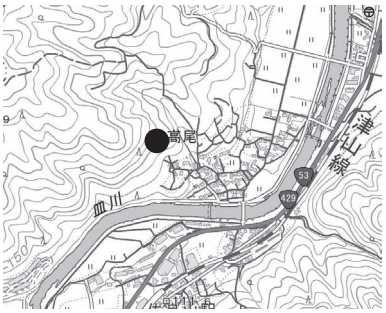
高尾宮ノ前遺跡

所 在 地：津山市高尾1282ほか　　調査期間：令和４年11月９日～11月21日

担 当 者：四田寛人　　調査面積：130㎡

調査の経過

高尾宮ノ前遺跡は、嵯峨山から南東に派生する尾根端部に位置し、南に皿川を望む立地にある。本調査地の南側では、平成29年・令和３年の確認調査及び令和３年度からの発掘調査によって、弥生時代から中世の遺構が存在することが明らかとなった。今回は丘陵上での遺構の広がりと残存状況を確認するため、５本のトレンチを設定し調査を行った。このうちＴ２・３・５は、尾根上から南向き斜面にかけての現地表面で認められる段状地形上に設定した。



調査位置図（1/25,000）

調査の概要

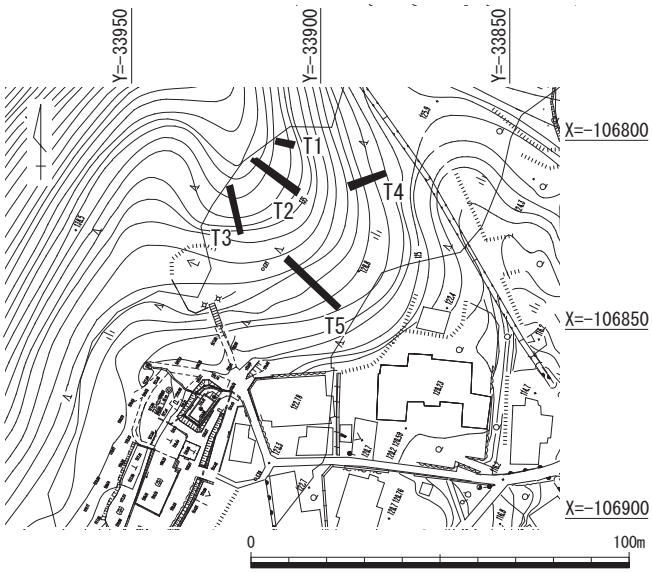
Ｔ３で段状遺構と柱穴、Ｔ５でピットを検出した。一方でＴ１・Ｔ２・Ｔ４では遺構は検出されなかった。また、いずれのトレンチからも遺物は出土しなかった。これらのことから、Ｔ３・Ｔ５を含む尾根南側の斜面部を中心に遺跡が所在すると考えられる。

Ｔ１は表土下10～30cmで基盤層を確認した。表土直下は明黄褐色から明褐色を呈する斜面堆積の流土であり、遺構・遺物は検出していない。

Ｔ２は表土下15～90cm、Ｔ３は表土下30～110cmで基盤層を確認した。両トレンチで橙色を呈する岩盤由来の礫を含む造成土が40～70cmほど堆積しており、その下層に造成以前の斜面堆積の流土が認められる。流土上面に明瞭な腐植土層がみられないことから、現地表面の段状地形は、流土上面の削平後に盛土を施して形成されたと思われる。Ｔ５周辺でも認められるこの段状地形は、尾根上が植林地となっていることから植林に伴うものと考えられる。遺構はＴ３で基盤層に掘り込まれた段状遺構及び柱穴を確認した。段状遺構は検出した範囲で幅184cm、深さ21cm、柱穴は径31cm、深さ36cmで、埋土中に炭化物が混じる。これらの遺構から遺物は出土していない。

Ｔ４は表土直下10mで基盤層を確認した。Ｔ１～３でみられた流土は確認されず、基盤層まで削平が行われた可能性がある。遺構・遺物は検出していない。

Ｔ５は表土下約10～70cmで基盤層を確認した。基盤層の直上にＴ２・３と同様の橙色を呈する造成土が認められたことから、基盤層まで及ぶ削平が行われた後に盛土が行われたと考えられる。遺構はトレンチ北西端で基盤層を掘り込む径約30㎝のピットを２基検出した。ピットとしてはやや浅いが、これらの上半部は造成時に削平されたものとみられる。遺物は確認していない。　　（四田）



トレンチ配置図（1/2,000）

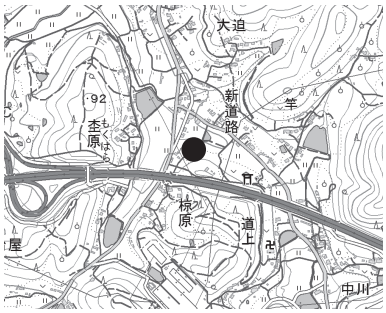
（４）県道園井里庄線地方道路整備事業道路改築に伴う試掘調査

所 在 地：笠岡市園井277－1、597－1、598－1　　調査期間：令和５年１月23日～27日

担 当 者：小嶋善邦・四田寛人　　調査面積：39.6㎡

調査の経過

調査地は、山陽自動車道建設に伴って発掘調査を行い、掘立柱建物・礎石列・土坑などが検出され、さらには大量に遺物が出土した園井土井遺跡の西方約300mに位置する。現状は北側にある浅い谷地形に向けて緩やかに下がる地形で、畑作地となっていた。この場所に、３本のトレンチを設定し、調査を行った。



調査位置図（1/25,000）

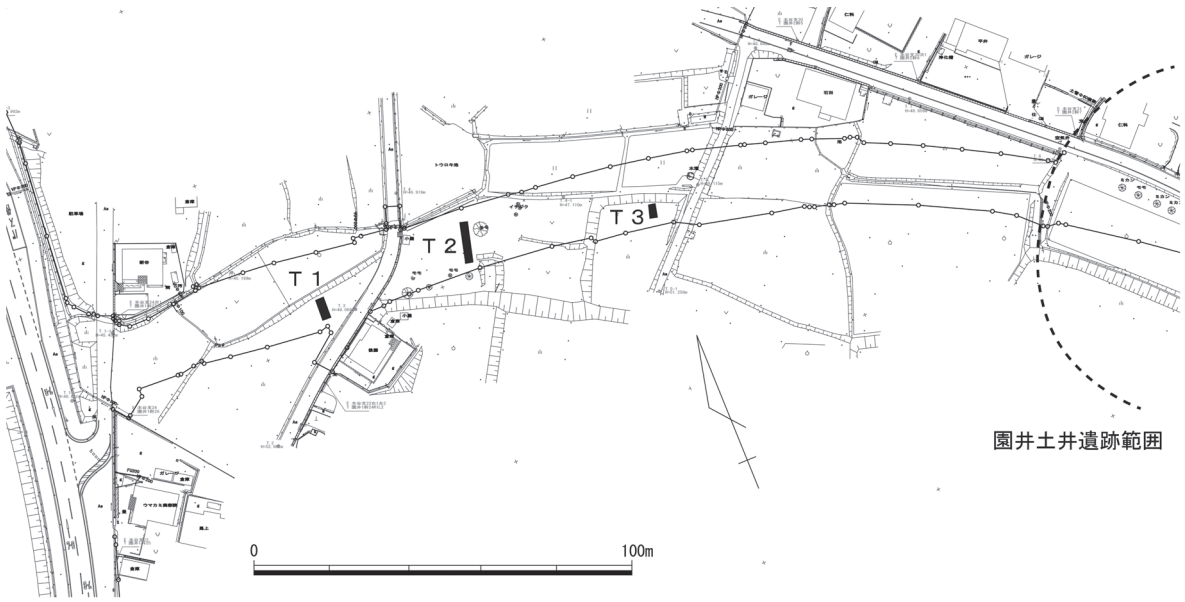
調査の概要

Ｔ１では、遺構・遺物とも検出していない。土層の状況は、表土・耕作土を除去すると褐色を呈する自然堆積層があり、その下に非常に固く締まったいわゆるバイラン土とされる地山が認められる。

Ｔ２では、水田造成により一部岩盤まで削平されている状況が確認された。この削平がいつ頃行われたのか不明であるが、水田耕作は戦後しばらくまで行われていたことが地元住民への聞き取りで判明している。この水田耕作土より下には褐色を呈する自然堆積層が認められ、さらにその下はいわゆるバイラン土とされる非常に固く締また地山である。この地山上面を精査したが、遺構は検出されなかった。遺物は、水田を埋め立てた土から２点のみ出土した。

Ｔ３は、周辺より約２m高く方形を呈する高まりに設定したトレンチである。近くに園井土井遺跡が所在することから、この高まりが中世～近世にかけて造成された可能性を考え、調査を行った。その結果、造成土の状況と地元住民の聞き取りから、昭和後期頃に造成された高まりであることが判明した。遺構・遺物は検出されなかった。なお、埋め戻し時に重機により深掘りを行い、現地表より約1.8m下に昭和後期頃の旧耕作土が確認され、さらにその下約0.6mで非常に固く締まった地山を確認した。

（小嶋）



トレンチ配置図（1/2,000）

第２節　発掘調査概要

（１）高梁川河川整備事業に伴う発掘調査

水江遺跡・酒津遺跡

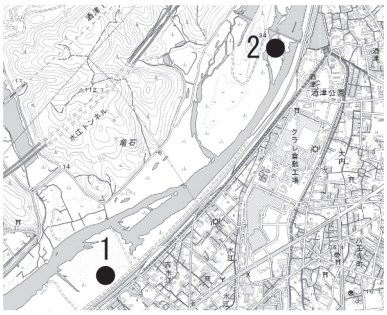
所 在 地：倉敷市水江地先・酒津地先　　調査期間：令和４年10月３日～令和５年３月31日

担 当 者：澤山孝之・渡邉恵里子・石田爲成・藤井雅大・間所克仁・北門幸二郎・森本蓮

調査面積：1,100㎡（水江遺跡650㎡　酒津遺跡450㎡）

発掘調査

高梁川河川整備事業に伴い発掘調査を実施した。水江遺跡については、高梁川東岸側の堤防改修によって影響を受ける部分（水江遺跡１・２区）について調査を行った。酒津遺跡については、笠井堰の改修を急ぐことから、堰の南側に隣接する中州北側部分（酒津遺跡１・２区）から調査に着手した。



１ 水江遺跡　２ 酒津遺跡

調査位置図（1/50,000）

調査の概要

水江遺跡は高梁川河床から東岸にかけて所在する。今年度の調査地は高梁川東岸の河川敷内の２地点に分かれており、上流側を１区、下流側を２区として調査を行った。

１区では、古墳時代後期～奈良時代と考えられる土坑２基と溝３条、鎌倉時代の溝１条、室町時代の溝１条を確認した。古墳時代の溝は北西から南東方向に掘削され、底からは須恵器の𤭯や高杯が見

水江遺跡・酒津遺跡遠景（南西から）

水江１区　室町時代の溝（上が南東）

水江１区　溝内小皿出土状況（北東から）

水江２区　縄文時代のたわみ（北西から）

つかった。室町時代の溝は北東から南西方向に掘削されている。断面形はＶ字形で上幅約2.4ｍ、深さ約１ｍを測る。溝中から鍋や小皿、銅銭など比較的多くの遺物が出土した。小皿は溝の底で見つかり、複数枚重ねられたものが上流側へ崩れた状態で見つかった。

２区では縄文時代後期のたわみ１基、弥生時代後期の溝１条、鎌倉時代から室町時代にかけての河道の一部を確認した。縄文時代後期のたわみは不整形を呈し、深さは約15㎝と浅く埋土中から円礫や炭片とともに縄文土器片が出土した。

酒津遺跡は高梁川の河床から東岸にかけて所在する。今年度の調査地は笠井堰南側の中州北側に位置しており、東側を１区、西側を２区として調査を行った。

１区では、古墳時代後期の竪穴住居２軒を確認した。これらの住居床面の一部は強く被熱して硬化した箇所が認められ、周辺では鉄滓も出土していることから、住居内で鍛冶作業が行われていた可能性がある。また、奈良時代から平安時代にかけての溝１条を確認しており、溝の上層では多くの土師器片や須恵器片などが礫とともに出土した。土層と出土状況からこれらの遺物は西側から流れ込んできたものと考えられる。

２区では、弥生時代後期末の土器溜まり２か所、古墳時代後期の竪穴住居１軒、土坑１基、平安時代の溝１条、鎌倉時代の掘立柱建物１棟、柱穴列１列、室町時代を中心とする溝３条などを確認した。弥生時代後期末の土器溜まりからは多量の弥生土器、室町時代の溝からは銅銭などが出土した。また、鎌倉時代の掘立柱建物は規模が大きく、東西約９ｍ、南北約５ｍ以上を測る。

酒津遺跡は、これまで本格的な発掘調査が行われておらず、遺跡の具体的な様相については不明な点が多かったが、今年度の調査によってその一端が明らかになった。　　（石田・藤井・間所・北門）

酒津１区　古墳時代の竪穴住居（南東から）

酒津１区　古代の溝遺物出土状況（東から）

酒津２区　弥生時代の土器溜まり（北西から）

酒津２区　鎌倉時代の掘立柱建物（南西から）

（２）一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う発掘調査

高尾宮ノ前遺跡

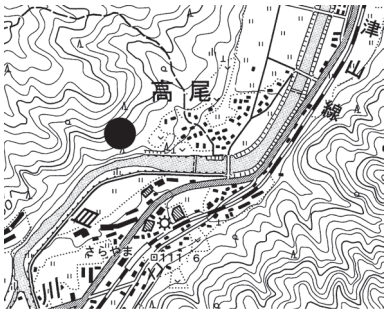
所 在 地：津山市高尾793ほか　　調査期間：令和４年４月１日～令和５年３月31日

担 当 者：團　奈歩・山口香織・藤井雄一・間所克仁・西村　奏

調査面積：3,600㎡

調査の経過

昨年度に引き続き、４月から一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う発掘調査を実施した。今年度は、高尾宮ノ前遺跡南西の１区（工事用道路部分）及び東半の２区の合計3,600㎡の範囲で調査を行った。



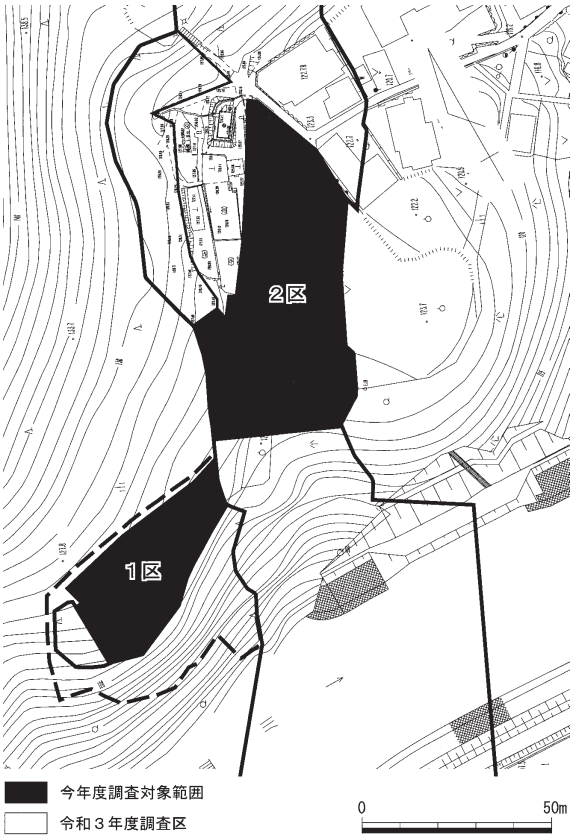
調査位置図(1/25,000)

調査の概要

高尾宮ノ前遺跡では、今年度の調査対象地において弥生時代の竪穴住居、古墳時代後期の竪穴住居、掘立柱建物及び土坑墓、奈良時代頃の土器埋納遺構、室町時代の屋敷地の他、各時期の段状遺構、土坑、溝及び柱穴列などの遺構を確認した。遺物は縄文時代から中世の土器・陶磁器、陶棺、瓦、土製品、石器及び金属製品などが認められた。

１区は嵯峨山南東端の勾配の大きい丘陵斜面に位置し、比較的傾斜の緩やかな斜面上方を中心に、弥生時代中期の可能性のある竪穴住居１軒、古墳時代後期の竪穴住居３軒、段状遺構２面、柱穴列１列、中世以降の土坑及び柱穴などを確認した。また、調査地の南半は後世の地形改変を大きく受けており、南東端で近世以降の道を確認するに留まった。

２区は嵯峨山南東端の南へ延びる尾根上に位置し、弥生時代の段状遺構２面、古墳時代後期の掘立柱建物１棟、段状遺構１面、土坑墓１基、柱穴列３列、奈良時代頃の土器埋納遺構１基、尾根を造成した平坦面で「コ」の字形の区画溝で囲まれた室町時代の屋敷地を確認した。この屋敷地では掘立柱建物が重複して認められたことから、建て替えを行ったとみられ、中央部に主屋、両側に副屋という配置で、少なくとも２時期の居住が想定される。屋敷地の範囲は、東半に現代の削平を大きく受けているが、南北約25ｍ×東西10ｍ以上と考えられる。区画溝や柱穴からは、備前焼、青磁、染付及び天目茶碗などが出土した。南端の谷部で中世及び近世以降の道を確認しており、１区南東端の道と一連のものと考えられる。谷部には縄文時代早期以降の遺物を包含する層が堆積しており、特に古墳時代後期の遺物が多く出土した。このことから、本来は尾根上に古墳時代後期



調査地周辺図（1/2,000）

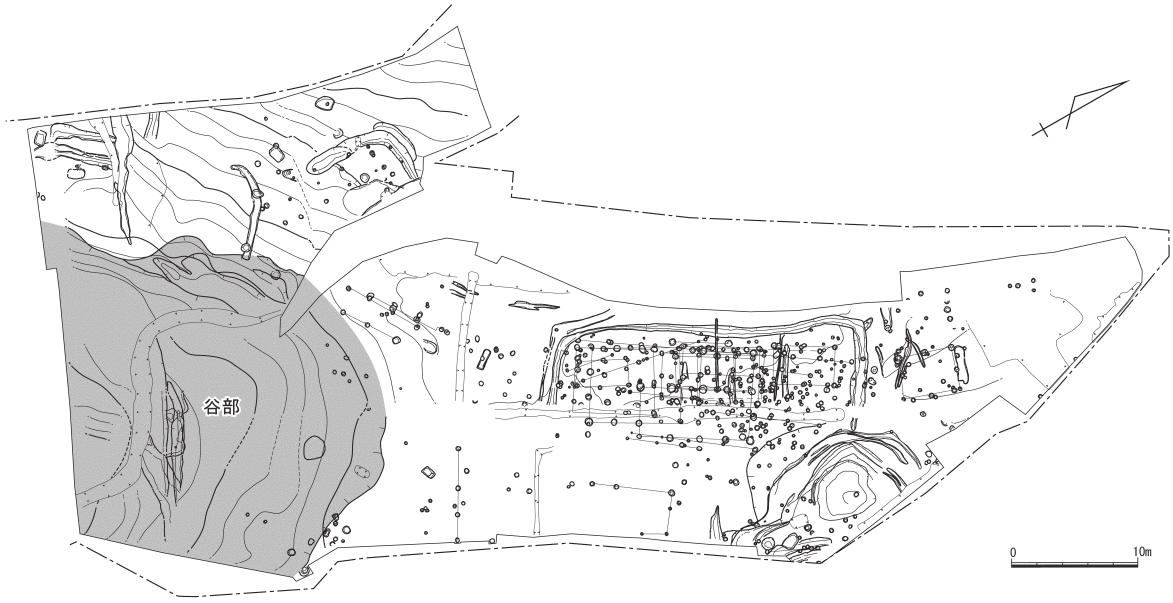
を中心とする遺構が多くあったと考えられるが、室町時代の屋敷地の造成時に削平を受けたため、これ以前の遺構は希薄になっている。（山口）

弥生時代中期の竪穴住居（南東から）

古墳時代後期の土坑墓（西から）

室町時代の屋敷地（南東上空から）

谷部（北から）



２区遺構全体図（1/600）

（３）一般国道429号改築工事に伴う発掘調査

尾崎遺跡

所 在 地：美作市古町1869－１ほか　　調査期間：令和４年４月１日～10月31日

担 当 者：物部茂樹・西村　奏・北門幸二郎　　調査面積：1,000㎡

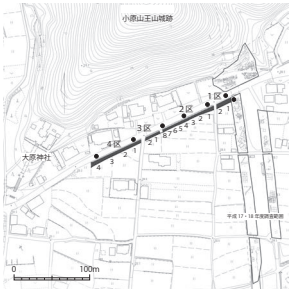
調査の経過

一般国道429号改築工事に伴い、尾崎遺跡の発掘調査を実施した。本遺跡は平成17・18年度に実施した鳥取自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査によって、弥生時代から鎌倉時代の集落遺跡であることがわかっている。また、奈良時代から平安時代の掘立柱建物の配置状況や、円面硯や巡方、緑釉陶器、丹塗り土師器といった出土遺物の特徴から、公的施設が存在した可能性が考えられ、注目された。今回の調査地は前回の調査地の西側に位置する。

調査位置図（1/25,000）

調査の概要

尾崎遺跡は吉野川と後山川の合流地点を中心に発達した谷底平野に位置する。今回の調査では、弥生時代の竪穴住居や溝、奈良時代から室町時代の掘立柱建物や柱穴、溝といった、西側に接する平成17・18年度の調査地からの遺跡の広がりを示す遺構が見つかった。１区の柱穴列は方向や柱間の間隔などから公的施設の一部である可能性がある。その他、新たに発見された遺構としては、奈良時代以降の炉が挙げられる。炉は周辺から出土した鉄滓の特徴から鍛冶炉と考えられる。出土遺物として、縄文土器、弥生土器のほか土師器、須恵器の椀や皿、備前焼の擂鉢や甕、青磁、白磁、天目茶碗、瓦質土器の鍋や釜に加え、土錘、羽口、打製石斧、石硯、鉄釘、鉄滓などが挙げられる。出土遺物の中には、勝間田焼のように県北部に多く流通したものに加え、播磨地域で製作された土師器や須恵器も含まれる。

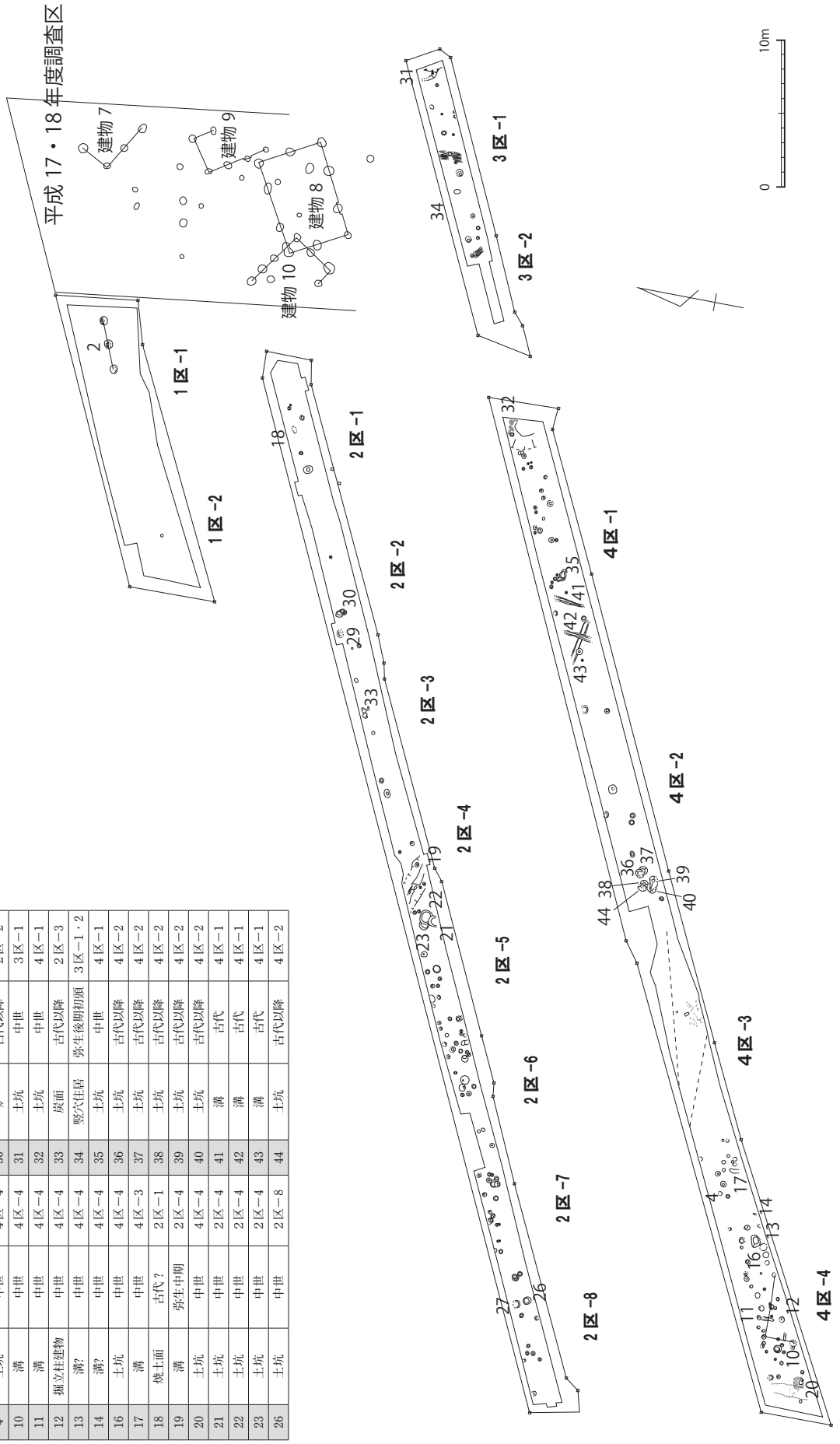


調査区配置図（1/10,000）

こうした遺構・遺物が１区から４区にわたって検出されたことから、弥生時代の集落や古代～中世の掘立柱建物群が約300m四方の広域にわたって広がっていることがわかった。　（西村）

奈良時代以降の炉（南西から）

鎌倉～室町時代の掘立柱建物（南から）



尾崎遺跡遺構全体図（1/400）

No.	種別	時期	地区	No.	種別	時期	地区
1	凹み（集石）	中世	4区－3	27	土坑	中世	2区－8
2	柱穴列	古代？	1区－1	29	炉	古代以降	2区－2
4	土坑	中世	4区－4	30	炉	古代以降	2区－2
10	溝	中世	4区－4	31	土坑	中世	3区－1
11	溝	中世	4区－4	32	土坑	中世	4区－1
12	掘立柱建物	中世	4区－4	33	炭面	古代以降	2区－3
13	溝?	中世	4区－4	34	竪穴住居	弥生後期初頭	3区－1・2
14	溝?	中世	4区－4	35	土坑	中世	4区－1
16	土坑	中世	4区－4	36	土坑	古代以降	4区－2
17	溝	中世	4区－3	37	土坑	古代以降	4区－2
18	焼土面	古代？	2区－1	38	土坑	古代以降	4区－2
19	溝	弥生中期	2区－4	39	土坑	古代以降	4区－2
20	土坑	中世	4区－4	40	土坑	古代以降	4区－2
21	土坑	中世	2区－4	41	溝	古代	4区－1
22	土坑	中世	2区－4	42	溝	古代	4区－1
23	土坑	中世	2区－4	43	溝	古代	4区－1
26	土坑	中世	2区－8	44	土坑	古代以降	4区－2

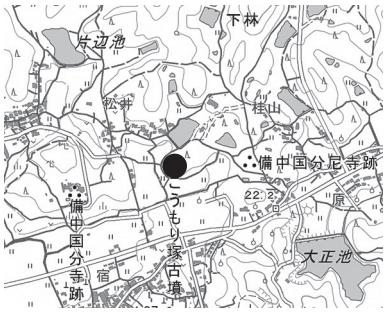
第３節 「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業

史跡こうもり塚古墳保存活用総合調査

担当者：金田善敬・藤井翔平・小林有紀子・阿部誠悟

１ 事業の経緯

「吉備路風土記の丘」として広く親しまれている総社市南東部から岡山市西部にかけての一帯は、全国的にも著名な遺跡が数多く分布する地域である。こうもり塚古墳は、古墳時代後期に築かれた大型前方後円墳で、県内最大の横穴式石室をもつ吉備中枢の大首長墓であることから、昭和43年に国史跡に指定されている。古代吉備文化財センターでは、「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業として、令和２年度から３か年計画で、こうもり塚古墳の過去の発掘調査成果の再整理を含めた総合調査を行った。



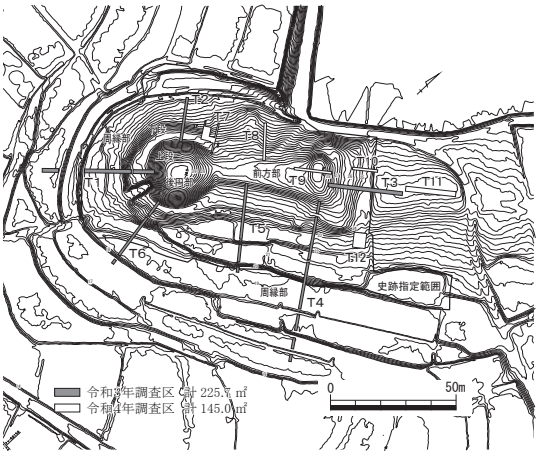
調査位置図（1/25,000）

史跡こうもり塚古墳保存活用総合調査の最終年度に当たる令和４年度は、墳丘の発掘調査を実施し、これら発掘調査とこれまでの調査成果を収載した総合調査報告書を刊行した。発掘調査及び成果については、シンポジウムや企画展を実施し、一般に公開した。

２ 事業の概要

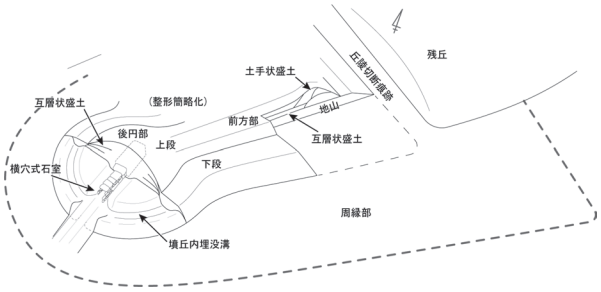
発掘調査

史跡こうもり塚古墳は、これまでに昭和42年・昭和53年に横穴式石室の発掘調査が実施されている。令和令和４年度は、昨年度実施した調査結果を踏まえ、古墳の北西側のくびれ部から前方部及び前方部前端や項部の構造、南東隅部の形状把握、北東側に位置する残丘における遺構の確認を目的に調査区６か所を設定した。調査は令和４年５月６日から６月29日まで行い、調査面積は145㎡である。



こうもり塚古墳調査区配置図（1/3,000）

その結果、北西側のくびれ部から前方部にかけては段築の造作が行われていない可能性が指摘できたほか、後円部も通常想定される前方後円墳のくびれ部の位置まで整形が及んでいないことが明らかになった。また、前方部上段は前端に土手状盛土を構築し、その墳丘側を異なる土を互層状に積み上げて堅固に築造していたことが分かった。しかし、後世における開墾等の影響で、前方部隅部や残丘部分では遺構を確認することはできなかった。令和３・４年度の２か年の調査の結果、こうもり塚古墳は、墳長約



こうもり塚古墳築造工程模式図

武器・馬具

須恵器・土師器

こうもり塚古墳出土品

96ｍの前方後円墳で、後円部径約43ｍ、前方部約53ｍを測った。

報告書作成

史跡こうもり塚古墳保存活用総合調査事業に当たっては、令和２～４年度に実施した測量・発掘調査成果のほかに、過去に実施された調査成果も含めた総合調査報告書を３月に刊行した。

過去の調査の再整理は令和２年度から岡山県古代吉備文化財センターで開始した。昭和42年の発掘調査の図面は岡山大学考古学研究室、出土遺物は総社市が所有していたため、再整理のため両機関から資料を借用した。また、昭和53年度の発掘調査成果は既に『県報告35』に報告されているが、必要に応じ再実測した上で再掲載した。また、こうもり塚古墳の墳丘測量図及び横穴式石室実測図はすでに公開された図があるが、令和２年度に実施した航空レーザー測量及び石室三次元計測の成果を基に再作成した。

報告書の作成に当たり、こうもり塚古墳の所在する三須丘陵に残る横穴式石室を持つ古墳の測量成果及びこうもり塚古墳と同様の大型前方後円墳である赤磐市鳥取上高塚古墳の測量成果も収載した。

公開活用事業

令和３年度に作成した史跡こうもり塚古墳の360°動画をYouTubeで公開した。また、発掘調査の成果は、６月18日に現地説明会を開催し、当日は109名の参加者を得た。また、12月３日に吉備路ウォークを開催し、史跡こうもり塚古墳を含む周辺の遺跡を31名の参加者とともに見学した。今回の事業で明らかになった史跡こうもり塚古墳の調査及び成果については、史跡こうもり塚古墳ガイドブックにまとめて刊行したほか、３月４日に史跡こうもり塚古墳シンポジウム『吉備最後の大型前方後円墳とその時代』を開催し、当日は165名の参加を得た。（金田）

こうもり塚古墳現地説明会風景

吉備路ウォーク

岡山県古代吉備文化財センター年報２
＜ 令和４年度 ＞

令和５年９月30日　印刷
令和５年９月30日　刊行

発行　岡山県古代吉備文化財センター
岡山県岡山市北区西花尻1325-3
TEL 086-293-3211

印刷　サンコー印刷株式会社
岡山県総社市駅南1-1-5